

「女性労働者の労働実態およびジェンダー平等・健康実態調査」報告

はじめに

全労連女性部は、女性労働者の実態をあきらかにするため、1992年からおおむね5年ごとに同趣旨の調査を行っています。本調査は、法整備に向けた運動、女性労働者の地位向上のための世論形成に活用するために取り組んだものです。

・調査機関	2025年4月から7月
・調査方法	全労連の加盟組織から組合を通して調査用紙を配布・回収
・調査対象	女性労働者
・集約数	17単産、46都道府県から7,942人（うち組合員93.9%）

I. 調査対象の概要

1. あなたの組合が加入している単産名に○をつけてください

上段: 度数 下段: %	合計	建交 労	JMIT U	自交 総連	生協 労連	全労 連・全 国一 般	金融 労連	全印 総連	民放 労連	日本 医労 連	福祉 保育 労	国公 労連	自治 労連	全教	郵政 U	全農 協労 連	新聞 労連	その他 労組	組合 に入っ ていな い	不明・ 無回 答
合計	7,942	208	76	18	698	51	1	177	3	3,237	125	1,070	662	560	21	126	1	424	465	19
	100.0	2.6	1.0	0.2	8.8	0.6	0.0	2.2	0.0	40.8	1.6	13.5	8.3	7.1	0.3	1.6	0.0	5.3	5.9	0.2
正社員・正 規職員	5,782	125	59	13	419	25	0	165	2	2,441	101	831	465	495	2	107	0	336	186	10
	100.0	2.2	1.0	0.2	7.2	0.4	0.0	2.9	0.0	42.2	1.7	14.4	8.0	8.6	0.0	1.9	0.0	5.8	3.2	0.2
非正規・非 常勤(無 期)	837	32	2	0	183	12	0	2	0	350	6	40	49	8	13	4	1	33	102	0
	100.0	3.8	0.2	0.0	21.9	1.4	0.0	0.2	0.0	41.8	0.7	4.8	5.9	1.0	1.6	0.5	0.1	3.9	12.2	0.0
非正規・非 常勤(有 期)	1,025	27	10	4	62	8	1	7	0	358	17	191	137	53	3	7	0	22	113	5
	100.0	2.6	1.0	0.4	6.0	0.8	0.1	0.7	0.0	34.9	1.7	18.6	13.4	5.2	0.3	0.7	0.0	2.1	11.0	0.5
派遣	72	5	1	0	0	0	0	1	0	26	0	0	1	0	0	3	0	4	30	1
	100.0	6.9	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	36.1	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	4.2	0.0	5.6	41.7	1.4
フリーラン ス・個人請 負	16	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	7	6	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.8	37.5	0.0
その他	154	16	3	1	23	4	0	0	1	42	0	5	5	2	3	3	0	20	24	2
	100.0	10.4	1.9	0.6	14.9	2.6	0.0	0.0	0.6	27.3	0.0	3.2	3.2	1.3	1.9	1.9	0.0	13.0	15.6	1.3
不明・無回 答	56	3	1	0	10	2	0	2	0	20	1	1	5	2	0	2	0	2	4	1
	100.0	5.4	1.8	0.0	17.9	3.6	0.0	3.6	0.0	35.7	1.8	1.8	8.9	3.6	0.0	3.6	0.0	3.6	7.1	1.8

●2020年は、コロナ禍であったが、実態をつかもうと7,829人の方に協力をいただいた。今回は前回以上の集約を目指し、7,942人の方に協力を得て回収することできた。

●正規は72.8%（前回78.0%）、非正規は、無期10.5・有期12.9の計23.4%（前回19.6%）である。全体として組合員が93.9%を占めている。非正規の集約が少ないのは、組合員に非正規が少ないこと、非正規を組織している単産が少ないことが考えられるが、前回よりは3.4ポイント上昇している。また、組合未加入者からの集約も5.9%・465人（前回5.5%・433人/前々回10.5%・1129人）で、前回より若干増えている。

●所属組合は、日本医労連40.8%（3,237人）、国公労連13.5%（1,070人）、生協労連8.8%（698人）、自治労連8.4%（662人）、の4単産で全体の71.6%を占める。

前回より多く回収できた単産は、医労連（1541→3237人）、建交労（139→208人）、全印総連（171→177人）、福祉保育労（92→125人）、全農協労連（60→126人）、郵政ユニオン（12→21人）である。一方で、前回より回収数が減った組織がある。全労連の方針にもある「対話と学びあい」のツールの一つにと、「紙媒体」での調査を実施したが、Webアンケートのほうが回答しやすいという声もあり、残念ながら、取り組みのできない組織もあった。

4月13日の記者会見以降、以下の修正をしています

- ・4月28日 P6【D. あなたの年齢は?】の表を差し替えました。
- ・5月9日 P10下の「非正規単身の年収のクロス分析」表と本文を差し替えました。

2.あなたの職場の所存する都道府県に○をつけてください

Ⅲ. あなたの職場の所在する都道府県に○をつけてください。																								
上段:度数 下段:%	合計	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知
合計	7,942	318	22	93	87	75	102	97	123	23	41	472	80	570	208	105	58	43	5	86	768	69	478	185
	100.0	4.0	0.3	1.2	1.1	0.9	1.3	1.2	1.5	0.3	0.5	5.9	1.0	7.2	2.6	1.3	0.7	0.5	0.1	1.1	9.7	0.9	6.0	2.3
正社員・正規職員	5,782	168	18	85	70	68	98	74	94	20	20	255	15	421	169	89	41	34	3	50	606	63	369	147
	100.0	2.9	0.3	1.5	1.2	1.2	1.7	1.3	1.6	0.3	0.3	4.4	0.3	7.3	2.9	1.5	0.7	0.6	0.1	0.9	10.5	1.1	6.4	2.5
非正規・非常勤(無期)	837	30	1	4	4	3	1	10	7	0	12	97	41	65	16	7	15	4	1	9	63	1	34	17
	100.0	3.6	0.1	0.5	0.5	0.4	0.1	1.2	0.8	0.0	1.4	11.6	4.9	7.8	1.9	0.8	1.8	0.5	0.1	1.1	7.5	0.1	4.1	2.0
非正規・非常勤(有期)	1,025	118	2	4	12	4	1	3	14	2	7	79	18	54	10	8	0	5	1	26	85	3	58	16
	100.0	11.5	0.2	0.4	1.2	0.4	0.1	0.3	1.4	0.2	0.7	7.7	1.8	5.3	1.0	0.8	0.0	0.5	0.1	2.5	8.3	0.3	5.7	1.6
派遣	72	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	3	0	7	5	0	0	0	0	0	2	1	7	4
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	9.7	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	1.4	9.7	5.6
フリーランス・個人請負	16	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
その他	154	1	1	0	1	0	2	6	3	1	2	26	6	16	5	1	2	0	0	0	10	1	8	0
	100.0	0.6	0.6	0.0	0.6	0.0	1.3	3.9	1.9	0.6	1.3	16.9	3.9	10.4	3.2	0.6	1.3	0.0	0.0	0.0	6.5	0.6	5.2	0.0
不明・無回答	56	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	8	0	3	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0
	100.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	14.3	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	3.6	0.0	3.6	0.0

上段:度数 下段:%	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島	沖縄	不明・無回答
合計	21	47	339	417	152	2	37	36	60	1,245	297	23	45	100	28	16	462	40	65	53	36	19	265	29
	0.3	0.6	4.3	5.3	1.9	0.0	0.5	0.5	0.8	15.7	3.7	0.3	0.6	1.3	0.4	0.2	5.8	0.5	0.8	0.7	0.5	0.2	3.3	0.4
正社員・正規職員	21	24	253	345	92	2	30	31	47	769	220	22	36	99	27	13	393	24	63	51	29	13	191	10
	0.4	0.4	4.4	6.0	1.6	0.0	0.5	0.5	0.8	13.3	3.8	0.4	0.6	1.7	0.5	0.2	6.8	0.4	1.1	0.9	0.5	0.2	3.3	0.2
非正規・非常勤(無期)	0	16	29	26	18	0	3	2	3	196	25	0	3	1	0	0	31	9	1	1	1	2	25	3
	0.0	1.9	3.5	3.1	2.2	0.0	0.4	0.2	0.4	23.4	3.0	0.0	0.4	0.1	0.0	0.0	3.7	1.1	0.1	0.1	0.1	0.2	3.0	0.4
非正規・非常勤(有期)	0	6	42	36	32	0	2	1	9	226	46	0	4	0	1	2	32	6	1	1	4	3	40	1
	0.0	0.6	4.1	3.5	3.1	0.0	0.2	0.1	0.9	22.0	4.5	0.0	0.4	0.0	0.1	0.2	3.1	0.6	0.1	0.1	0.4	0.3	3.9	0.1
派遣	0	0	5	2	2	0	0	0	0	24	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0.0	0.0	6.9	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	1.4	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
フリーランス・個人請負	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
その他	0	1	7	7	7	0	1	2	0	18	3	1	0	0	0	1	3	1	0	0	2	0	8	0
	0.0	0.6	4.5	4.5	4.5	0.0	0.6	1.3	0.0	11.7	1.9	0.6	0.0	0.0	0.6	1.9	0.6	0.0	0.0	1.3	0.0	5.2	0.0	
不明・無回答	0	0	3	1	1	0	1	0	1	12	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	1	13
	0.0	0.0	5.4	1.8	1.8	0.0	1.8	0.0	1.8	21.4	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8	23.2

●1県を除く46都道府県から回答があった。なかでも回収がよかったのは、岡山であり、7,942のうち1,245を集め、前回の978も上回った。

【A】あなたの仕事は次のうちいずれかになりますか？】

■職種は「一般事務」24.8%、「看護師」20.9%、「その他・専門職」12.6%、の順。

回答者を多く占めた職種は「一般事務」24.8%で、次いで「看護師」20.8%、「その他・専門職」12.6%、「介護・福祉職場」9.4%、「教職員」7.7%となっている。

雇用形態別の集約では、正規では全体の傾向より教職員が多く（9.5%）、非正規（無期）では、全体の傾向より「介護・福祉職場」（14.1%）「販売・店員」（9.6%）が多く、「その他・専門職」（7.2%）「教職員」（1.1%）が少ない。非正規（有期）では、全体の傾向より「介護・福祉職場」（14.1%）が多い。

派遣では、「一般事務」が36.1%を占め、「その他・専門職」11.1%、「製造」5.6%、「介護・福祉職場」9.7%、「看護師」が4.2%だった。

上段:度数 下段:%	合計	一般事務	外交・営業	製造	マスコミ関係	調理	清掃	販売・店員	教職員	保育士	看護師	学童保育	介護・福祉職場	研究職	その他専門・技術職	運輸・交通関係	金融	建設関係	通信関係	その他	不明・無回答
合計	7,942	1,966	132	87	29	143	34	166	615	327	1,663	85	746	11	1,004	168	51	100	19	475	121
	100.0	24.8	1.7	1.1	0.4	1.8	0.4	2.1	7.7	4.1	20.9	1.1	9.4	0.1	12.6	2.1	0.6	1.3	0.2	6.0	1.5
正社員・正規職員	5,782	1,443	124	54	26	76	8	54	548	241	1,345	32	468	11	820	125	47	88	12	198	62
	100.0	25.0	2.1	0.9	0.4	1.3	0.1	0.9	9.5	4.2	23.3	0.6	8.1	0.2	14.2	2.2	0.8	1.5	0.2	3.4	1.1
非正規・非常勤(無期)	837	190	4	14	0	33	7	80	9	32	119	14	118	0	60	24	1	6	4	103	19
	100.0	22.7	0.5	1.7	0.0	3.9	0.8	9.6	1.1	3.8	14.2	1.7	14.1	0.0	7.2	2.9	0.1	0.7	0.5	12.3	2.3
非正規・非常勤(有期)	1,025	271	2	9	2	27	3	22	55	49	178	35	122	0	110	13	2	0	2	111	12
	100.0	26.4	0.2	0.9	0.2	2.6	0.3	2.1	5.4	4.8	17.4	3.4	11.9	0.0	10.7	1.3	0.2	0.0	0.2	10.8	1.2
派遣	72	26	0	4	0	1	3	1	0	0	3	1	7	0	8	2	1	1	0	11	3
	100.0	36.1	0.0	5.6	0.0	1.4	4.2	1.4	0.0	0.0	4.2	1.4	9.7	0.0	11.1	2.8	1.4	1.4	0.0	15.3	4.2
フリーランス・個人請負	16	2	1	0	1	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	1	4	0
	100.0	12.5	6.3	0.0	6.3	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	12.5	6.3	25.0	0.0
その他	154	28	1	5	0	2	10	6	2	2	15	2	21	0	4	3	0	3	0	44	6
	100.0	18.2	0.6	3.2	0.0	1.3	6.5	3.9	1.3	1.3	9.7	1.3	13.6	0.0	2.6	1.9	0.0	1.9	0.0	28.6	3.9
不明・無回答	56	6	0	1	0	2	3	2	1	3	3	1	9	0	1	1	0	0	0	4	19
	100.0	10.7	0.0	1.8	0.0	3.6	5.4	3.6	1.8	5.4	5.4	1.8	16.1	0.0	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	7.1	33.9

【B-1. あなたの雇用形態は次のいずれですか】(N=7,942)

■「正規」72.8、「非正規」無期 10.5%「非正規」有期 12.9%、派遣 0.9%、フリーランス・個人請負 0.2%、その他 1.9%

■回答者の24.5%が非正規雇用労働者となっている。

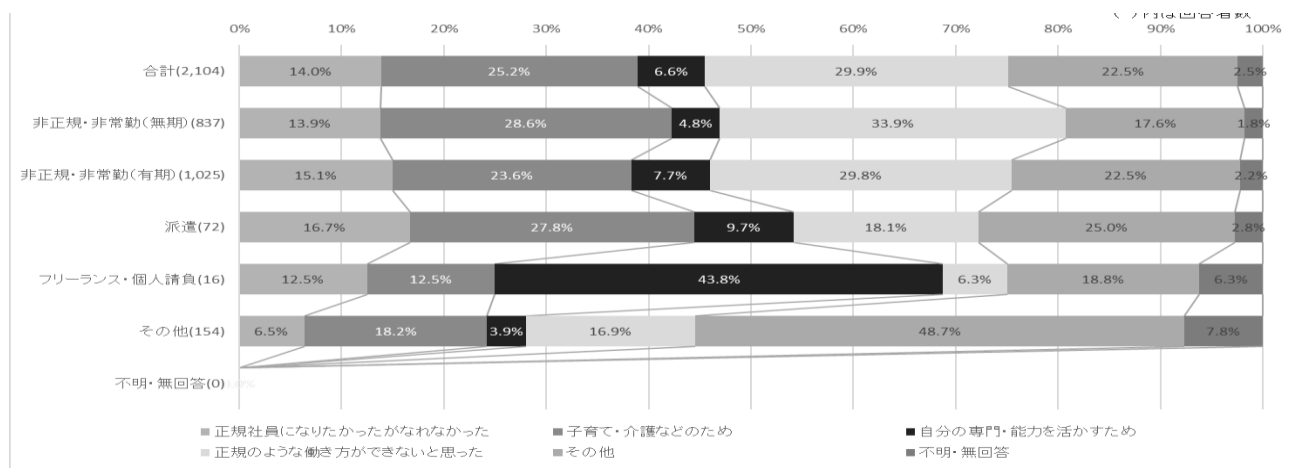
2018年に施行された非正規の無期転換ルールに伴い、前回の調査から、契約形態ごとの項目に変更している。「正規」72.8%（前回78%）、「非正規・非常勤（無期）」10.5%（前回8.2%）、（有期）12.9%（前回10.9%）、派遣0.9%（前回0.5%）、フリーランス・個人請負0.2%（前回0.1%）であった。前回同様、「無期」「有期」「派遣」を「非正規」として計算すると、前回は19.7%（1,541人）だったが、今回は、24.5%（1,934人）と、非正規雇用労働者からの回答割合が増えている。

B-1. あなたの雇用形態は次のいずれですか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	正社員・正規職員	5,782	72.8
2	非正規・非常勤(無期)	837	10.5
3	非正規・非常勤(有期)	1,025	12.9
4	派遣	72	0.9
5	フリーランス・個人請負	16	0.2
6	その他	154	1.9
	不明・無回答	56	0.7
	回答者数	7,942	100.0

【B-2. 正規以外の雇用形態を選んだ特に強い理由を1つ選んでください。】

上段度数 下段%	合計	正規社員になりたかったがなれなかった	子育て・介護などのため	自分の専門・能力を活かすため	正規のような働き方ができないと思った	その他	不明・無回答
合計	2,104	295	531	139	629	474	53
	100.0	14.0	25.2	6.6	29.9	22.5	2.5
非正規・非常勤 (無期)	837	116	239	40	284	147	15
	100.0	13.9	28.6	4.8	33.9	17.6	1.8
非正規・非常勤 (有期)	1,025	155	242	79	305	231	23
	100.0	15.1	23.6	7.7	29.8	22.5	2.2
派遣	72	12	20	7	13	18	2
	100.0	16.7	27.8	9.7	18.1	25.0	2.8
フリーランス・個人 請負	16	2	2	7	1	3	1
	100.0	12.5	12.5	43.8	6.3	18.8	6.3
その他	154	10	28	6	26	75	12
	100.0	6.5	18.2	3.9	16.9	48.7	7.8



■家族的責任を負う女性が非正規を選ばざるを得ない実態とともに、正規を希望しても非正規しかない実態が示されている

「正社員・正職員」を除いた回答者では、「正規のような働き方ができないと思った」29.9%、「子育て・介護などのため」25.2%、「正規社員になりたかったがなれなかった」14.0%となっている。前回調査時とほぼ同じだが「正社員になりたかったがなれなかった」が5ポイント減で、「正規のような働き方ができない」（前回28.0%）、「子育て・介護のため」（前回21.9%）が少し増えている。

「ケアレス・マン」を前提とした正規雇用労働者の働き方がさらに過酷になっていることや、男女賃金格差、子育てや介護の社会化の遅れ・後退などを背景に、女性が非正規を選ばざるを得ない実態が示されている。この間、私たちは、現場での交渉は勿論のこと、関係省庁への要請を行ってきた。両立支援制度などは前進しているが、いまだに家父長制の残滓や、男女の役割分担意識が多く存在しており、「パリティ」や、「同一労働同一賃金」等を実施しないことに加え、男性を含めた「長時間労働」も大きく影響し、制度はあっても「結果の平等」には程遠い。

【B-3. 現在複数以上の仕事をしていますか(内職を含む)】(合計に対する割合)

	していない	2つ	3つ	4つ	5つ以上	不明・無回答
合計(7,942)	94.9%	3.0%	0.4%	0.1%	0.1%	1.5%
正社員・正規職員(5,782)	97.3%	0.9%	0.2%	0.0%	0.1%	1.5%
非正規・非常勤(無期)(837)	89.4%	9.2%	0.6%	0.4%	0.0%	0.5%
非正規・非常勤(有期)(1,025)	89.8%	8.8%	0.8%	0.0%	0.2%	0.5%
派遣(72)	88.9%	6.9%	1.4%	1.4%	0.0%	1.4%
フリーランス・個人請負(16)	56.3%	18.8%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%
その他(154)	87.0%	8.4%	1.3%	0.6%	0.0%	2.6%
不明・無回答(56)	62.5%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	33.9%

■非正規では、10人に一人がダブルワーク

「複数以上の仕事をしているか」の問いに、非正規(無期)は計10.2%(うち「2つ」が9.2%)、非正規(有期)は計9.8%(うち「2つ」8.8%)で、およそ10人に一人がダブルワーク以上の働き方をしている。「派遣」では「2つ」6.9%、「3つ」と「4つ」がともに1.4%、「フリーランス・個人請負」では、「2つ」18.8%、「3つ」18.8%、「5つ以上」6.3%と、細分化している働き方となっている。

【C.あなたの勤務形態はどのようになっていますか?】職種別割合(%)

	合計	日勤	時差勤務・早番・遅番	2交替制勤務がある	3交替制勤務がある	夜勤専門	フレックスタイム制	裁量労働	その他	不明・無回答
合計	100.0	67.5	14.7	6.4	8.3	0.4	1.6	0.2	3.1	0.9
一般事務	100.0	91.1	6.3	0.1	0.1	0.2	1.4	0.1	0.8	0.4
外交・営業	100.0	72.7	6.8	0.0	0.0	0.0	20.5	0.0	0.0	0.0
製造	100.0	92.0	2.3	0.0	0.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
マスコミ関係	100.0	93.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	3.4
調理	100.0	54.5	36.4	1.4	3.5	0.0	0.0	0.0	3.5	2.1
清掃	100.0	64.7	0.0	0.0	0.0	2.9	11.8	0.0	17.6	2.9
販売・店員	100.0	67.5	24.7	0.6	1.2	0.6	0.6	0.6	4.2	0.6
教職員	100.0	94.0	1.5	0.5	0.3	0.2	0.2	0.5	2.1	0.8
保育士	100.0	30.0	65.4	0.6	0.9	0.0	0.3	0.0	2.8	1.2
看護師	100.0	36.6	13.8	20.4	31.7	0.5	0.2	0.0	5.4	0.4
学童保育	100.0	50.6	42.4	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	3.5
介護・福祉職場	100.0	59.7	20.1	9.1	9.4	0.4	2.3	0.1	3.9	1.2
研究職	100.0	81.8	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0
その他専門・技術職	100.0	72.4	16.4	5.6	2.4	0.1	2.4	0.0	1.6	0.4
運輸・交通関係	100.0	66.1	11.3	1.2	6.5	5.4	2.4	0.6	4.8	2.4
金融	100.0	96.1	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
建設関係	100.0	86.0	3.0	0.0	0.0	0.0	7.0	2.0	3.0	0.0
通信関係	100.0	84.2	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0
その他	100.0	67.6	20.8	4.0	0.2	0.6	1.1	0.4	6.5	0.2
不明・無回答	100.0	53.7	8.3	10.7	8.3	0.8	0.8	0.0	4.1	16.5

■日勤が7割

勤務形態は「日勤」が最も多く67.5%(前回69.4%)について「日勤時差勤務」14.7%(前回14.1%)であり、「交代制勤務(20.7%)となる。「フレックスタイム制」は少ないが、1.6%(前回1.4%、前々回0.7%)と増加している。

業種により差があり、「日勤」が主となるのは、「金融」「教職員」「マスコミ関係」「製造」「一般事務」で、「時差出勤」が多いのは、「保育士」(65.4%)「学童保育」(42.4%)、「調理」(36.4%)、「販売・店員」(24.7%)、「介護・福祉職場」(20.1%)。交代制勤務は「看護師」で約半数となる(2交替と3交替を合わせて52.1%)。また多くの職種で日勤以外の勤務形態がある。

【D.あなたの年齢は？】

上段:度数 下段:%		あなたの年齢は？												
		合計	15 ～ 19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45～ 49 歳	50～ 54 歳	55～ 59 歳	60～ 64 歳	65 歳以上	不明・ 無回答
あなたの雇用形態は次のいずれですか	合計	7,942	18	602	843	622	698	836	1,065	1,296	990	600	327	45
		100.0	0.2	7.6	10.6	7.8	8.8	10.5	13.4	16.3	12.5	7.6	4.1	0.6
	正社員・正規職員	5,782	15	577	792	556	575	645	790	893	642	243	39	15
		100.0	0.3	10.0	13.7	9.6	9.9	11.2	13.7	15.4	11.1	4.2	0.7	0.3
	非正規・非常勤(無期)	837	0	7	12	27	41	87	119	187	156	111	87	3
		100.0	0.0	0.8	1.4	3.2	4.9	10.4	14.2	22.3	18.6	13.3	10.4	0.4
	非正規・非常勤(有期)	1,025	1	9	23	32	58	90	132	174	150	196	154	6
		100.0	0.1	0.9	2.2	3.1	5.7	8.8	12.9	17.0	14.6	19.1	15.0	0.6
	派遣	72	0	4	9	4	11	6	3	15	7	6	5	2
		100.0	0.0	5.6	12.5	5.6	15.3	8.3	4.2	20.8	9.7	8.3	6.9	2.8
	フリーランス・個人請負	16	0	1	1	2	0	1	1	3	3	0	4	0
		100.0	0.0	6.3	6.3	12.5	0.0	6.3	6.3	18.8	18.8	0.0	25.0	0.0
	その他	154	2	1	5	1	11	5	14	19	25	41	30	0
		100.0	1.3	0.6	3.2	0.6	7.1	3.2	9.1	12.3	16.2	26.6	19.5	0.0
不明・無回答	56	0	3	1	0	2	2	6	5	7	3	8	19	
	100.0	0.0	5.4	1.8	0.0	3.6	3.6	10.7	8.9	12.5	5.4	14.3	33.9	

■20代～30代が3.5割、40代～50代が5割。60歳以上が1割を超えた。

「50～54歳」(16.3%)が最も多く、次いで「45～49歳」(13.4%)、「55～59歳」(12.5%)、「25～29歳」(10.6%)、「40～44歳」(10.5%)の順だが、「35～39歳」(8.8%) (前回10.2%)「30～34歳」(7.8%) (前回9.1%)で30代が少し少ない。

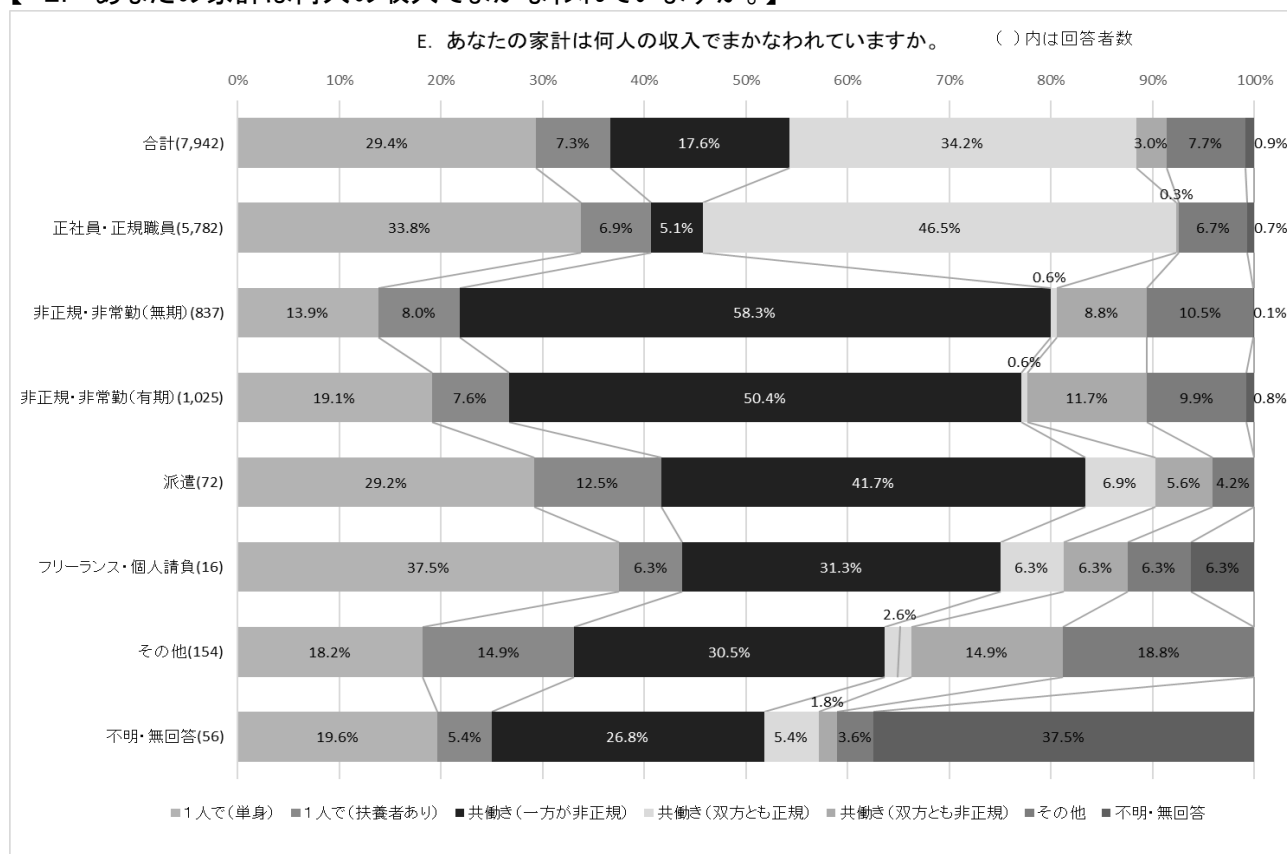
今回「60～64歳」(7.6%) (前回4.6%)となった。これは、定年延長など高齢者雇用の推進もあるが、年金額が少なくなったため働かざるを得ない実態がある。また、「65歳以上」が4.1% (前回1.1%)だが、「介護・福祉職場」で突出しており (全体で介護・福祉職場の占める割合が9.4%に対し、60～65歳で14.7%、65歳以上で19.6%)現場の人手不足も挙げられる。50代以上で非正規雇用やフリーランス、仕事をかけ持ちしている人の割合が高い

高齢労働者の雇用・処遇改善は勿論のこと、全労働者に対して、均等待遇・労働安全衛生等を含めた労働環境の改善と適切な条件整備の確保が必要である。また、日本の高齢者は諸外国と比べ「生活のため」に働く割合が高い。高齢女性の貧困解消のためにも、安心して生活できる年金、最低保障年金の実現、住まいや医療・介護の負担軽減が求められる。

■50歳以上の回答者の雇用形態

	正社員・ 正規職員	非正規・ 非常勤 (無期)	非正規・ 非常勤 (有期)	派遣	フリーラ ンス・個 人請負	その他	不明・無 回答
全体(7942)	72.8	10.5	12.9	0.9	0.2	1.9	0.7
50～54歳(1296)	68.9	14.4	13.4	1.2	0.2	1.5	0.4
55～59歳(990)	64.8	15.8	15.2	0.7	0.3	2.5	0.7
60～64歳(600)	40.5	18.5	32.7	1.0	0.0	6.8	0.5
65歳以上(327)	11.9	26.6	47.1	1.5	1.2	9.2	2.4

【 E. あなたの家計は何人の収入でまかなわれていますか。】



%	合計	1人で(単身)	1人で(扶養者あり)	共働き(一方が非正規)	共働き(双方とも正規)	共働き(双方とも非正規)	その他	不明・無回答
合計	100	29.4	7.3	17.6	34.2	3.0	7.7	0.9
正社員・正規職員	100	33.8	6.9	5.1	46.5	0.3	6.7	0.7
非正規・非常勤(無期)	100	13.9	8.0	58.3	0.6	8.8	10.5	0.1
非正規・非常勤(有期)	100	19.1	7.6	50.4	0.6	11.7	9.9	0.8
派遣	100	29.2	12.5	41.7	6.9	5.6	4.2	0.0
フリーランス・個人請負	100	37.5	6.3	31.3	6.3	6.3	6.3	6.3
その他	100	18.2	14.9	30.5	2.6	14.9	18.8	0.0
不明・無回答	100	19.6	5.4	26.8	5.4	1.8	3.6	37.5

■共働きは、54.8%、非正規の3人に一人が非正規雇用のみで生計を立てている

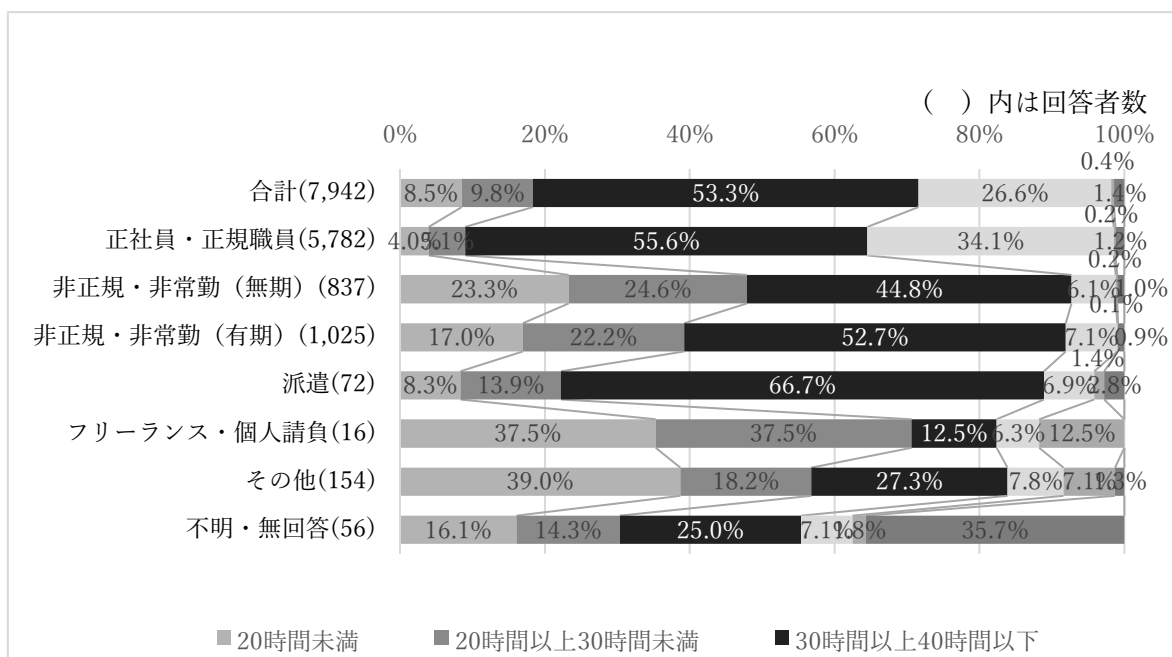
非正規の3人にひとりが、非正規雇用のみ(単身、扶養者あり、双方とも非正規)で生計を担っている。全体で、共働きが54.8%だった。(一方が非正規17.6%、双方とも正規34.2%、双方とも非正規3.0%)

雇用形態別でみると、正規では、「共働き(双方とも正規)」46.5%が最も多く、「1人で(単身)」33.8%、「1人で(扶養者あり)」6.9%、「共働き(一方が非正規)」5.1%であった。

一方、正規以外の働き方では、「一方が非正規の共働き」が最も多かった(無期58.3%、有期50.4%など)。一方で、非正規一人の収入で家計を支えている人も無期雇用で13.9%、有期雇用で19.1%、さらに単身で扶養者のいる人がそれぞれ8%、7.6%もいた。「双方とも非正規の共働き」は8.8%、11.7%である。

集約数は少ないが派遣では、自分の収入で扶養者ありが12.5%となっている

【F. あなたの1週間の所定内労働(平均した勤務時間合計)は？】



上段:度数 下段:%	合計	20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上40時間以下	40時間超	その他	不明・無回答
合計	7,942	679	779	4,235	2,116	30	113
	100.0	8.5	9.8	53.3	26.6	0.4	1.4
正社員・正規職員	5,782	229	293	3,214	1,970	12	72
	100.0	4.0	5.1	55.6	34.1	0.2	1.2
非正規・非常勤(無期)	837	195	206	375	51	2	8
	100.0	23.3	24.6	44.8	6.1	0.2	1.0
非正規・非常勤(有期)	1,025	174	228	540	73	1	9
	100.0	17.0	22.2	52.7	7.1	0.1	0.9
派遣	72	6	10	48	5	1	2
	100.0	8.3	13.9	66.7	6.9	1.4	2.8
フリーランス・個人請負	16	6	6	2	1	2	0
	100.0	37.5	37.5	12.5	6.3	12.5	0.0
その他	154	60	28	42	12	11	2
	100.0	39.0	18.2	27.3	7.8	7.1	1.3
不明・無回答	56	9	8	14	4	1	20
	100.0	16.1	14.3	25.0	7.1	1.8	35.7

■30時間以上が全体で79.9%、非正規(無期)50.9%、(有期)59.8%

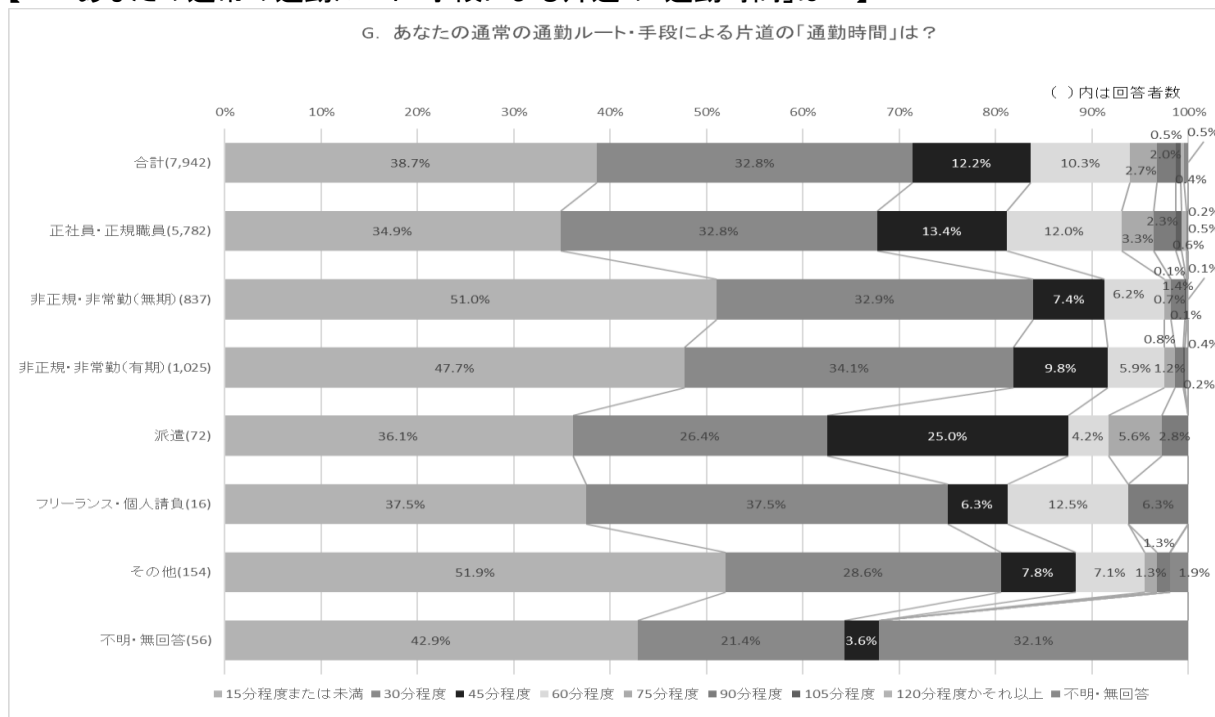
全体では、「30時間以上40時間以下」53.3%、「40時間超」26.6%、の合計は79.9%。正規労働者では、「30時間以上40時間以下」55.6%、「40時間超」34.1%、合計では89.7%であった。

非正規雇用労働者(無期)では、「30時間以上40時間以下」44.8%、「40時間超」6.1%。

非正規雇用労働者(有期)では、「30時間以上40時間以下」52.7%、「40時間超」7.1%と、無期雇用者の5割と、有期雇用者の約6割が社会保険適用範囲の労働者であり、「20時間以上30時間未満」(無期24.8%) (有期22.2%)、派遣13.9%は雇用保険加入要件をもつ労働者と考えられる。

派遣では、「30時間以上40時間以下」66.7%、「40時間超」6.9%、「個人・フリーランス個人請負」では、「30時間以上40時間以下」12.5%、「40時間超」6.3%だった。

【G. あなたの通常の通勤ルート・手段による片道の「通勤時間」は？】



上段:度数 下段:%		あなたの通常の通勤ルート・手段による片道の「通勤時間」は？									
		合計	15分程度または未満	30分程度	45分程度	60分程度	75分程度	90分程度	105分程度	120分程度かそれ以上	不明・無回答
あなたの雇用形態は次のいずれですか	合計	7,942	3,070	2,602	972	819	217	158	38	29	38
		100.0	38.7	32.8	12.2	10.3	2.7	2.0	0.5	0.4	0.5
	正社員・正規職員	5,782	2,018	1,896	777	691	193	133	35	28	12
		100.0	34.9	32.8	13.4	12.0	3.3	2.3	0.6	0.5	0.2
	非正規・非常勤(無期)	837	427	275	62	52	6	12	1	1	1
		100.0	51.0	32.9	7.4	6.2	0.7	1.4	0.1	0.1	0.1
	非正規・非常勤(有期)	1,025	489	350	100	60	12	8	2	0	4
		100.0	47.7	34.1	9.8	5.9	1.2	0.8	0.2	0.0	0.4
	派遣	72	26	19	18	3	4	2	0	0	0
		100.0	36.1	26.4	25.0	4.2	5.6	2.8	0.0	0.0	0.0
フリーランス・個人請負	16	6	6	1	2	0	1	0	0	0	
	100.0	37.5	37.5	6.3	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	
その他	154	80	44	12	11	2	2	0	0	3	
	100.0	51.9	28.6	7.8	7.1	1.3	1.3	0.0	0.0	1.9	
不明・無回答	56	24	12	2	0	0	0	0	0	18	
	100.0	42.9	21.4	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.1	

■通勤時間 60分程度以上が5人に1人

30分程度以下が、約7割超、非正規では8割超となっている。一方で、60分以上が15.9%と6人に1人となっている。非正規では無期・有期ともに約1割の人が60分程度以上通勤に要している。傾向は前回とほぼ同様である。

【H. あなたの年収は税金や社会保険料込みでいくらですか？複数仕事をしている人は合算】

下段:%		100 ～ 150 万円 未満	150 ～ 200 万円 未満	200 ～ 250 万円 未満	250 ～ 300 万円 未満	300 ～ 350 万円 未満	350 ～ 400 万円 未満	400 ～ 500 万円 未満	500 ～ 600 万円 未満	600 ～ 700 万円 未満	700 万円 以上	不明・ 無回答	
合計	7,942	3.3	5.6	5.3	8.5	8.9	12.0	10.9	17.3	12.8	6.9	4.9	3.7
正社員・正規職員	5,782	0.4	0.9	1.1	5.0	7.9	12.9	13.3	21.4	17.2	9.5	6.7	3.8
非正規・非常勤(無期)	837	12.7	20.7	17.6	18.0	9.8	9.4	3.9	5.0	0.4	0.1	0.1	2.3
非正規・非常勤(有期)	1,025	7.9	15.8	14.8	18.7	14.4	10.4	5.3	8.6	1.6	0.1	0.1	2.2
派遣	72	8.3	12.5	22.2	27.8	13.9	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
フリーランス・個人請負	16	37.5	25.0	6.3	18.8	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
その他	154	22.7	26.0	18.2	9.1	4.5	3.9	5.8	2.6	1.3	0.0	0.0	5.8
不明・無回答	56	7.1	16.1	19.6	3.6	5.4	8.9	0.0	8.9	0.0	0.0	0.0	30.4

■非正規労働者の50.9%（無期契約）、38.5%（有期契約）が年収200万円以下。最低生計費調査の必要額350万円以下は**全体で43.6%**、正規でも350万円以下28.2%、200万円未満7.4%

正規労働者は、「400～500万円未満」が最も多く21.4%（前回20.9%）、次いで「500～600万円未満」17.2%（16.7%）、「350～400万円未満」13.3%（前回10.9%）「300～400万円未満」26.2%（前回22.9%）、「200～300万円未満」12.9%（14.8%）となっている。

実に全体の**43.6%**、正規でも28.2%の人が、全労連の最低生計費試算調査の25歳単身者の最低生計費（女性では318～342万円）程度もしくはそれ以下の収入しか得ていない。国税庁「令和6年分民間給与実態統計調査」（2025年9月公表）によれば、正社員（正職員）男性609万円に対して、女性は430万円と、男女の賃金格差は歴然としている。

非正規労働者の分布をみると、年収200万円未満が、無期雇用で50.9%、有期雇用で38.5%を占めている。無期転換された労働者の正規労働者との均等待遇が義務付けられていないことが問題視されていたが、今回の調査では、賃金は有期雇用より低かった。さらなる分析が必要だ。

非正規単身（扶養あり）×年収（税金・社会保険料込み）

総計	18	23	24	26	14	20	8	13	2	1	1	4	154
	11.7%	14.9%	15.6%	16.9%	9.1%	13.0%	5.2%	8.4%	1.3%	0.6%	0.6%	2.6%	100.0%
年収幅累計	100万円 未満	150万円 未満計	200万円 未満計	250万円 未満計	300万円 未満計	350万円 未満計	400万円 未満計	500万円 未満計	500万円以上計				
	11.7%	26.6%	42.2%	59.1%	68.2%	81.2%	86.4%	94.8%	5.2%				

※「非正規」は有期、無期、派遣、フリーランス・請負の合計

主な家計の担い手とクロス分析を行ったところ、非正規単身で家計を担い、扶養がいても**81.2%**、**8割**が年収350万円未満となっている。

II.各項目の報告

問1-1. あなたの今の職場では、仕事の内容や待遇面で、女性は男性に比べ不当に差別されていると思いますか。それは具体的にどのようなことですか？(複数回答可)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用に男女差がある	203	2.6
2	賃金に差別がある	291	3.7
3	昇進・昇格に差別がある	460	5.8
4	能力を正當に評価しない	458	5.8
5	補助的な仕事しかやらせてもらえない	45	0.6
6	企画・プロジェクトなど社内の重要な仕事につかせてもらえない	36	0.5
7	女性を幹部職員に登用しない	235	3.0
8	結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある	345	4.3
9	女性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	95	1.2
10	教育・訓練を受ける機会が少ない	191	2.4
11	その他	329	4.1
12	差別はない	5,757	72.5
	不明・無回答	345	4.3
	回答者数	7,942	100.0

「差別がある」(23.2%)の内訳

※表は各雇用形態の「差別がある」を100%としたときの各選択肢を選んだ割合

()回答数 %は回答数を 100%としたとき の各項目の割 合	採用 に男 女差 がある	賃金 に差 別があ る	昇進・ 昇格 に差 別があ る	能力 を正 當に 評価し ない	補助 的な 仕事し かやら せても らえない	重要 な仕 事につ か せても らえない	女性を 幹部 職員 に登 用し ない	結婚 や出 産で勤 め続 けに くい 雰 囲 気	女性 は定 年 ま で 勤 め 続 け に くい 雰 囲 気	教育・ 訓練 を受 ける 機 会が 少 ない	その他
合計 (1840)	11.0%	15.8%	25.0%	24.9%	2.4%	2.0%	12.8%	18.8%	5.2%	10.4%	17.9%
正社員・正規職 員(1313)	10.4%	11.7%	28.6%	22.3%	2.1%	2.3%	15.0%	21.9%	5.4%	10.2%	16.5%
非正規・非常勤 (無期)(201)	12.9%	31.8%	14.9%	30.3%	2.5%	1.0%	9.5%	9.0%	5.0%	8.5%	20.4%
非正規・非常勤 (有期)(255)	14.1%	22.0%	17.3%	33.7%	3.9%	0.8%	6.3%	11.0%	3.5%	11.8%	20.8%

■正規では「昇進・昇格」差別、非正規・非常勤(無期)では「賃金」、非正規・非常勤(有期)では能力を正當に評価しない差別を感じている割合が高い

「あなたの今の職場では、仕事の内容や待遇面で、女性は男性に比べ不当に差別されていると思いますか。」という問いに、今回の調査では、「差別はない」が72.5%(前回72.3%)、「不明・無回答」は4.3%(前回5.0%)、その他4.1%(前回4.2%)であった。

正規で差別を感じている人は、1,313人(22.7%)で、上位3つは、「昇進・昇格」「能力を正當に評価しない」「結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある」

非正規で差別を感じている人の割合は、非正規・非常勤(無期)で24%、非正規・非常勤(有期)で24.9%と、正規を上回っている。非正規・非常勤(無期)の上位3つは「賃金に差別がある」「能力を正當に評価しない」「昇進・昇格に差別がある」。非正規・非常勤(有期)では、「能力を正當に評価しない」「賃金に差別がある」「昇進・昇格に差別がある」となっている。

職業別でみると、研究職、金融、外交・営業では「昇進・昇格に差別がある」、研究職、外交・営業では「女性を幹部職員に登用しない」、教職員・保育士・看護師では、「結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある」が上位を占めた。

「その他」が17.9%で、福利厚生や一時金、慶弔休暇などの項目がなかったことが影響していると思われる。

問 2. あなたの職場での女性の採用や昇進・昇格・登用についてのポジティブアクションについて

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	783	9.9
2	ない	1,807	22.8
3	計画策定中	33	0.4
4	わからない	5,154	64.9
	不明・無回答	167	2.1
	回答者数	7,942	100.0

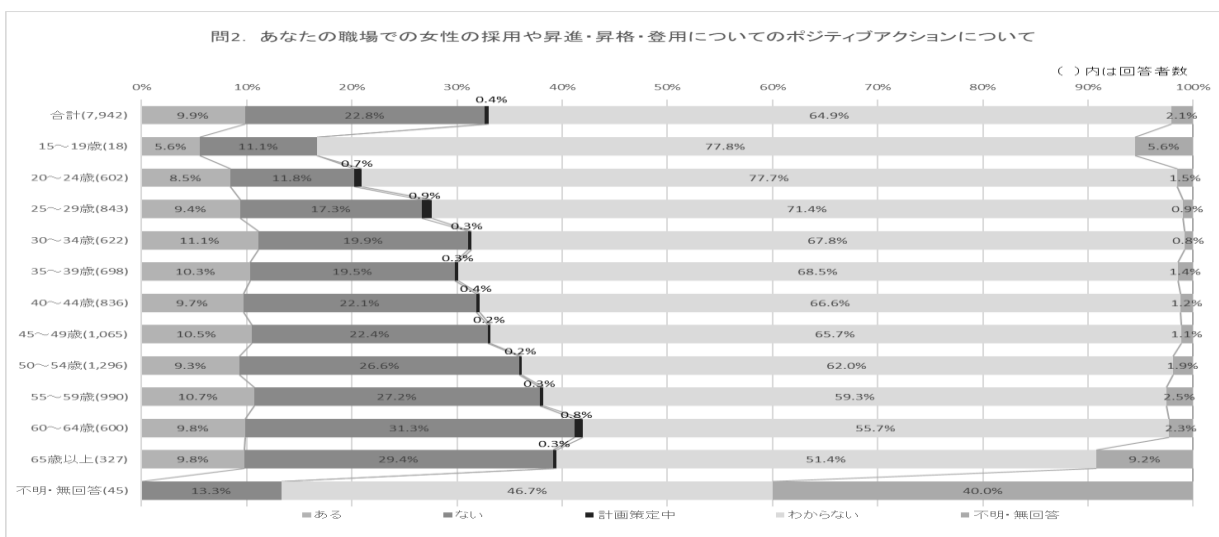
上段度数/下段:%	合計	ある	ない	計画策定中	わからない	不明・無回答
合計	7,942 100.0	783 9.9	1,807 22.8	33 0.4	5,154 64.9	167 2.1
正社員・正規職員	5,782 100.0	615 10.6	1,395 24.1	24 0.4	3,662 63.3	88 1.5
非正規・非常勤(無期)	837 100.0	64 7.6	158 18.9	4 0.5	584 69.8	27 3.2
非正規・非常勤(有期)	1,025 100.0	86 8.4	198 19.3	3 0.3	716 69.9	22 2.1
派遣	72 100.0	4 5.6	7 9.7	0 0.0	59 81.9	2 2.8
フリーランス・個人請負	16 100.0	2 12.5	3 18.8	0 0.0	9 56.3	2 12.5
その他	154 100.0	10 6.5	40 26.0	2 1.3	95 61.7	7 4.5
不明・無回答	56 100.0	2 3.6	6 10.7	0 0.0	29 51.8	19 33.9

■ポジティブアクションが「ある」と認識している人の割合は約 1 割。9.9%(前回 10.9%)。

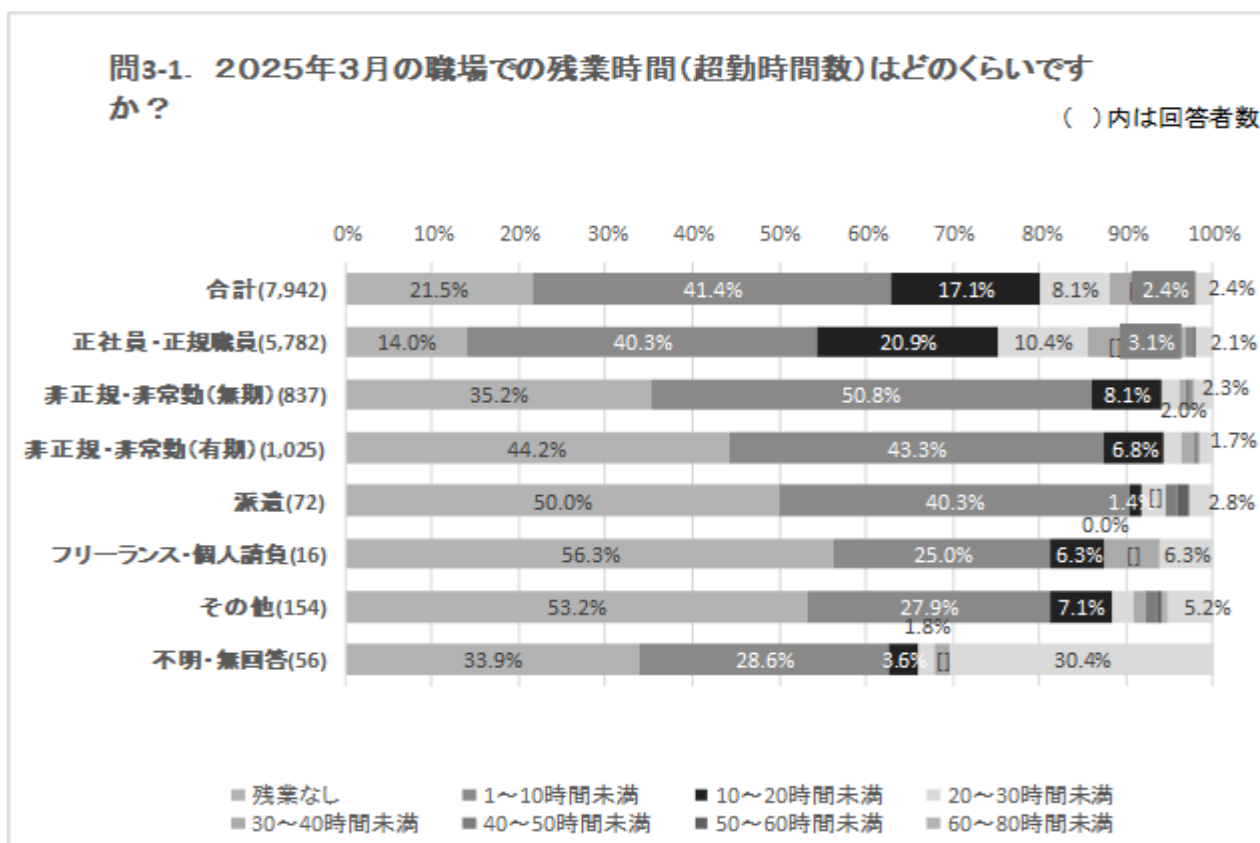
ポジティブアクションとは、職場における男女の格差を解消するため、個々の企業が積極的に行う取り組みのことであり、社会的・構造的な差別による不利益をなくし、誰でも活躍できる機会の提供や多様性の確保を目指している。ポジティブアクションが「ある」と認識している人の割合は 9.9%(前回 10.9%) であり、計画策定中は 0.4% である。「ない」と回答した人は、22.8%(前回 28.1%) と減っているが、「わからない」が 64.9%(前回 58.7%) と増えていることから、職場における意識的な男女格差是正の取り組みは進んでいないと思われる。政府の努力とともに労使のポジティブアクションへの理解を深めることが求められている。

「わからない」が、「15～19歳」で 77.8%(前回 82.6%)、「20～24歳」で 77.7%(前回 77.6%)、「25～29歳」で 71.4%(66.6%)、「30～34歳」で 67.8%(前回 68.2%) と、10代から 34歳までの年齢では全体の平均 64.9%を上回っている。

不十分とはいえ男女賃金公表義務がされ 101 人以上に拡大された。101 人以上でなくても、使用者に公表させ、改善計画を立てさせることが、労働組合には求められている。



【問 3-1. 2025 年 3 月の職場での残業時間(超勤時間数)はどのくらいですか？】



No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	残業なし	1,706	21.5
2	1~10時間未満	3,290	41.4
3	10~20時間未満	1,361	17.1
4	20~30時間未満	646	8.1
5	30~40時間未満	363	4.6
6	40~50時間未満	192	2.4
7	50~60時間未満	66	0.8
8	60~80時間未満	70	0.9
9	80~100時間未満	49	0.6
10	100時間以上	15	0.2
	不明・無回答	187	2.4
	回答者数	7,942	100.0

■月 40 時間以上の残業者は、全体で 4.9%(前回 5.5%)と、0.6 ポイント減った。「残業なし」は正規で 14.0%(前回 15.9%)、非正規では無期 35.2%、有期 44.2%、派遣 50.0%、フリーランス・個人請負 56.3%と、長時間残業が若干減ったものの、残業なしも減っている。

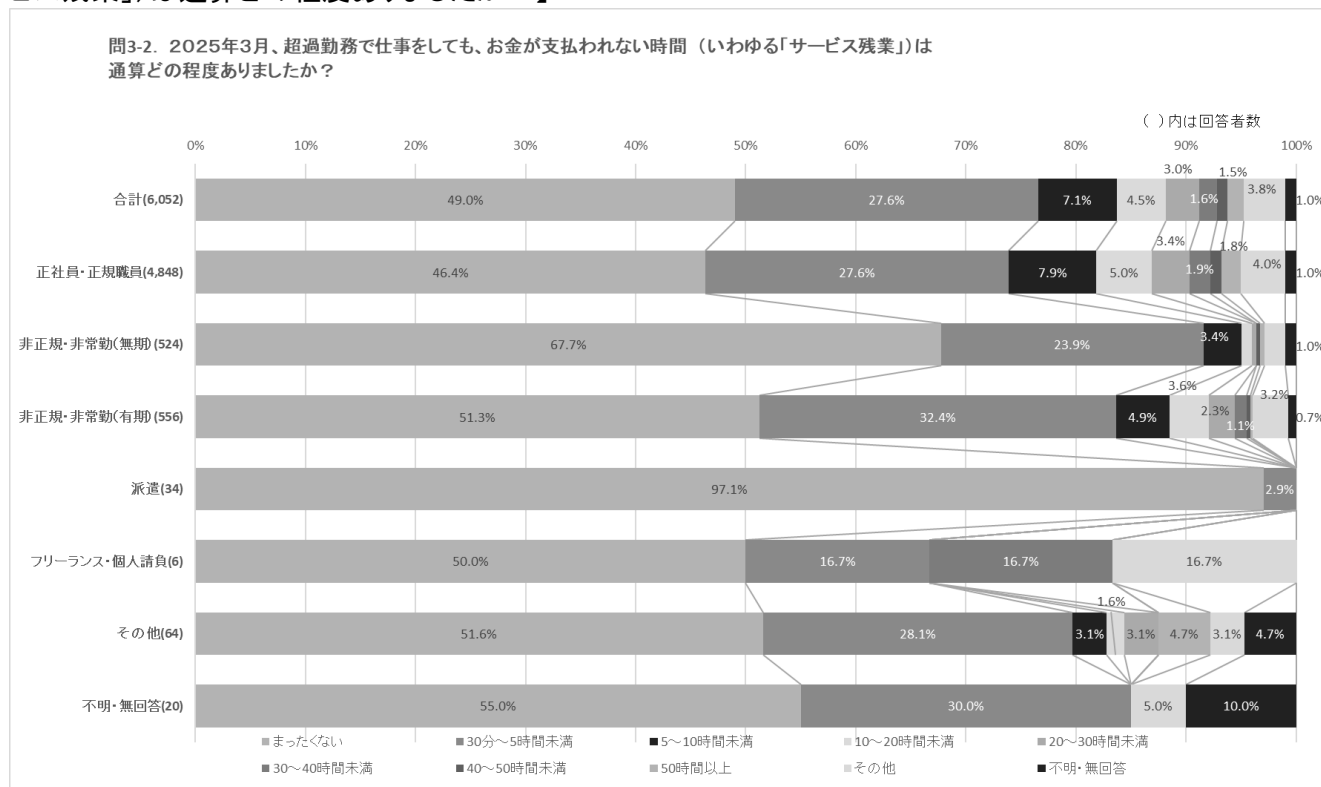
「最近 1 カ月の職場での残業時間」を聞いたところ、「残業なし」について正規で 14.0%、(前回 15.9%)、非正規・非常勤(無期) 35.2%、非正規・非常勤(有期) 44.2%と、前回非正規：46.7%であるので、正規・非正規ともに残業なしが減っている。

2019 年 4 月、「働き方改革関連法(働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律)」の施行により残業時間の上限は原則として月 45 時間・年 360 時間とされた。月 40 時間以上の残業時間を見ると、正規で 2015 年 11.8%、前回(2020 年) 6.8%から今回 6.4%と漸減傾向だ。

一方 80 時間以上をみると正規 1.1%、非正規・無期 0.1%、有期 0.2%となっている。法改正により 40 時間以上の残業は漸減傾向にあるものの、長時間残業が依然として残っており問題だ。職業別で、40 時間以上の残業は教職員 23.9%(前回 17.2%)もある。早急に法改正と増員が必要だ。

上段:度数	2025年3月の職場での残業時間(超勤時間数)はどのくらいですか？											
下段:%	合計	残業なし	1～10時間未満	10～20時間未満	20～30時間未満	30～40時間未満	40～50時間未満	50～60時間未満	60～80時間未満	80～100時間未満	100時間以上	不明・無回答
合計	7,942 100.0	1,706 21.5	3,290 41.4	1,361 17.1	646 8.1	363 4.6	192 2.4	66 0.8	70 0.9	49 0.6	15 0.2	187 2.4
一般事務	1,966 100.0	582 29.6	711 36.2	316 16.1	154 7.8	102 5.2	48 2.4	12 0.6	12 0.6	1 0.1	2 0.1	27 1.4
外交・営業	132 100.0	17 12.9	46 34.8	37 28.0	16 12.1	8 6.1	4 3.0	1 0.8	1 0.8	0 0.0	0 0.0	2 1.5
製造	87 100.0	29 33.3	22 25.3	13 14.9	9 10.3	7 8.0	2 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 5.7
マスコミ関係	29 100.0	5 17.2	7 24.1	7 24.1	2 6.9	4 13.8	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 10.3
調理	143 100.0	48 33.6	69 48.3	18 12.6	3 2.1	2 1.4	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.4
清掃	34 100.0	25 73.5	3 8.8	2 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 11.8
販売・店員	166 100.0	52 31.3	74 44.6	17 10.2	13 7.8	4 2.4	2 1.2	1 0.6	0 0.0	1 0.6	0 0.0	2 1.2
教職員	615 100.0	38 6.2	74 12.0	112 18.2	112 18.2	78 12.7	81 13.2	28 4.6	39 6.3	27 4.4	8 1.3	18 2.9
保育士	327 100.0	50 15.3	189 57.8	57 17.4	17 5.2	3 0.9	5 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 2.1
看護師	1,663 100.0	200 12.0	860 51.7	356 21.4	142 8.5	54 3.2	8 0.5	3 0.2	2 0.1	4 0.2	0 0.0	34 2.0
学童保育	85 100.0	8 9.4	52 61.2	13 15.3	3 3.5	4 4.7	0 0.0	2 2.4	1 1.2	0 0.0	0 0.0	3 3.5
介護・福祉職場	746 100.0	177 23.7	398 53.4	102 13.7	36 4.8	8 1.1	5 0.7	1 0.1	2 0.3	1 0.1	0 0.0	16 2.1
研究職	11 100.0	2 18.2	1 9.1	7 63.6	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他専門・技術職	1,004 100.0	194 19.3	462 46.0	173 17.2	71 7.1	44 4.4	11 1.1	7 0.7	7 0.7	9 0.9	2 0.2	24 2.4
運輸・交通関係	168 100.0	46 27.4	59 35.1	23 13.7	15 8.9	11 6.5	5 3.0	2 1.2	1 0.6	1 0.6	1 0.6	4 2.4
金融	51 100.0	15 29.4	22 43.1	5 9.8	6 11.8	2 3.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0
建設関係	100 100.0	14 14.0	19 19.0	17 17.0	13 13.0	12 12.0	11 11.0	5 5.0	2 2.0	5 5.0	1 1.0	1 1.0
通信関係	19 100.0	1 5.3	5 26.3	6 31.6	2 10.5	2 10.5	0 0.0	0 0.0	2 10.5	0 0.0	0 0.0	1 5.3
その他	475 100.0	180 37.9	168 35.4	58 12.2	28 5.9	14 2.9	6 1.3	3 0.6	1 0.2	0 0.0	1 0.2	16 3.4
不明・無回答	121 100.0	23 19.0	49 40.5	22 18.2	4 3.3	4 3.3	1 0.8	1 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 14.0

【問 3-2. 最近の1か月間、超過勤務で仕事をしても、お金が支払われない時間(いわゆる「サービス残業」)は通算どの程度ありましたか？】



■正規も非正規もサービス残業は前回と比較し減少傾向。しかし、約4割がサービス残業をしている。

「最近の1か月間、超過勤務で仕事をしても、お金が支払われない時間(いわゆる「サービス残業」)は通算どの程度ありましたか？」という問いに、「まったくない」は49.0%(前回48.7%・2015年37.4%)、正規で46.4%(前回45.7%、2015年33.9%)、非正規・非常勤(無期)67.7%、(有期)51.3% 前回非正規66.8%(2015年53.6%)であり、全体でみると46.2%ものサービス残業があり(30分～50時間以上計)問題である。

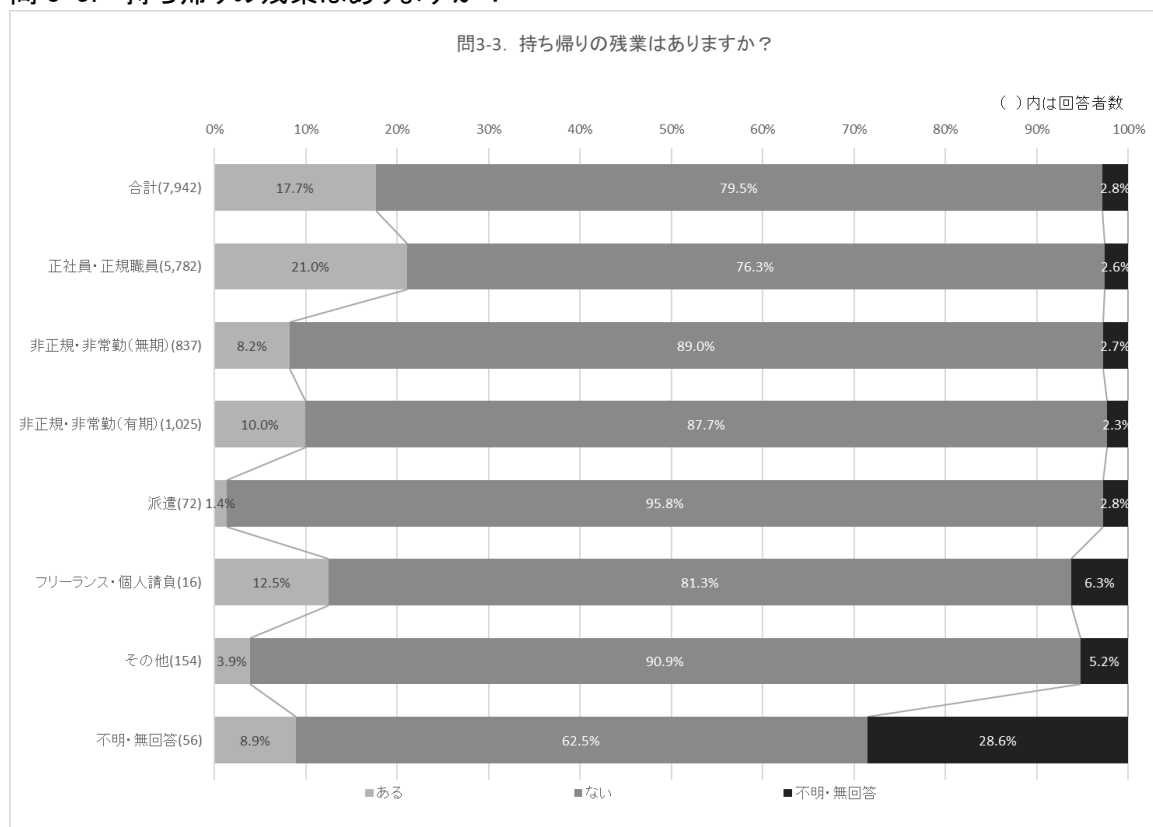
サービス残業の割合が高い職種は、30分～5時間未満でみると、看護師(43.1%)、保育士(39.9%)、介護・福祉職場(35.8%)、学童保育(37.3%)と、社会的役割にあるエッセンシャルワーカーが占めている。また教職員では「まったくない」が5.2%(前回13.9%)で、5～50時間以上の計で73%となり、サービス残業を多く行っている実態がみえる。

サービス残業はどの程度ありますか

※前問で「残業のあり」の内、サービス残業の比率

No.	カテゴリ	件数	% (※)
1	まったくない	2,968	49.0
2	30分～5時間未満	1,668	27.6
3	5～10時間未満	432	7.1
4	10～20時間未満	270	4.5
5	20～30時間未満	183	3.0
6	30～40時間未満	99	1.6
7	40～50時間未満	55	0.9
8	50時間以上	91	1.5
9	その他	227	3.8
	不明・無回答	61	1.0

問 3-3. 持ち帰りの残業はありますか？



■どの職業でも持ち帰り残業があり、持ち帰りの多い職に傾向あり

正規は「ある」21.0%（前回24.6%）で、4人に1人、非正規・非常勤（無期）「ある」8.2%、（有期）10.0%（前回非正規9.4%）、フリーランス・個人請負に於いては12.5%もあった。持ち帰りの多い職種は、教職員65.5%（前回61.3%）、保育士53.5%（前回59.1%）、学童保育40.0%（前回37.9%）となった。

持ち帰り残業はありますか（%）

職種(回答数)	ある	ない	不明・無回答
合計 (7,942)	17.7	79.5	2.8
一般事務 (1,966)	5.1	93.0	1.9
外交・営業 (132)	14.4	82.6	3.0
製造 (87)	4.6	93.1	2.3
マスコミ関係 (29)	34.5	62.1	3.4
調理 (143)	13.3	86.0	0.7
清掃 (34)	0.0	85.3	14.7
販売・店員 (166)	9.0	89.8	1.2
教職員 (615)	65.5	33.0	1.5
保育士 (327)	53.5	41.9	4.6
看護師 (1,663)	19.4	77.9	2.7
学童保育 (85)	40.0	55.3	4.7
介護・福祉職場 (746)	13.5	82.8	3.6
研究職 (11)	36.4	63.6	0.0
その他専門・技術職 (1,004)	12.1	85.0	3.0
運輸・交通関係 (168)	2.4	94.0	3.6
金融 (51)	7.8	92.2	0.0
建設関係 (100)	8.0	90.0	2.0
通信関係 (19)	10.5	84.2	5.3
その他 (475)	9.5	87.4	3.2
不明・無回答 (121)	9.9	75.2	14.9

問 3-4. 残業をする主な理由はなんですか？(おもな理由を3つ以内でお答えください)

No.	カテゴリ	件数	%
1	残業を組み込んだ業務だから	870	14.4
2	要員・人手不足だから	2,557	42.3
3	上司の命令だから	132	2.2
4	自らの責任でやらなければならない仕事だから	3,813	63.0
5	仲間に迷惑がかかるから	937	15.5
6	顧客・利用者・患者・生徒などに迷惑がかかるから	1,200	19.8
7	勤務成績に影響するから	69	1.1
8	収入を確保するため	140	2.3
9	その他	334	5.5
	不明・無回答	153	2.5

上段:度数 下段:%	残業をする主な理由はなんですか？(おもな理由を3つ以内でお答えください)										
	合計	残業を組み込んだ業務だから	要員・人手不足だから	上司の命令だから	自らの責任でやらなければならない仕事だから	仲間に迷惑がかかるから	顧客・利用者・患者・生徒などに迷惑がかかるから	勤務成績に影響するから	収入を確保するため	その他	不明・無回答
合計	6,052	870	2,557	132	3,813	937	1,200	69	140	334	153
	100.0	14.4	42.3	2.2	63.0	15.5	19.8	1.1	2.3	5.5	2.5
正社員・正規職員	4,848	716	2,095	95	3,181	789	1,011	61	107	245	113
	100.0	14.8	43.2	2.0	65.6	16.3	20.9	1.3	2.2	5.1	2.3
非正規・非常勤(無期)	524	73	209	19	264	59	69	3	14	41	17
	100.0	13.9	39.9	3.6	50.4	11.3	13.2	0.6	2.7	7.8	3.2
非正規・非常勤(有期)	556	73	212	17	298	69	100	4	12	41	20
	100.0	13.1	38.1	3.1	53.6	12.4	18.0	0.7	2.2	7.4	3.6
派遣	34	3	7	0	22	6	5	0	1	3	0
	100.0	8.8	20.6	0.0	64.7	17.6	14.7	0.0	2.9	8.8	0.0
フリーランス・個人請負	6	1	2	0	2	1	2	0	1	0	0
	100.0	16.7	33.3	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
その他	64	4	26	1	34	9	11	1	4	3	1
	100.0	6.3	40.6	1.6	53.1	14.1	17.2	1.6	6.3	4.7	1.6
不明・無回答	20	0	6	0	12	4	2	0	1	1	2
	100.0	0.0	30.0	0.0	60.0	20.0	10.0	0.0	5.0	5.0	10.0

■残業する理由は「自らの責任でやらなければならない仕事だから」が一番多い

「残業する理由」について、主なものを3つ答えてもらったところ、「自らの責任でやらなければならない仕事だから」が全体で63.0%（前回68.2%）だった。二番目も「要員・人手不足だから」42.3%（前回32.5%・前々回30.7%）と増え、三番目の「顧客・利用者・患者・生徒などに迷惑がかかるから」19.8%（前回20.2%・前々回21.2%）と続いている。この順番は、正規・非正規ともに同様であり、派遣、フリーランス・個人請負にもあった。

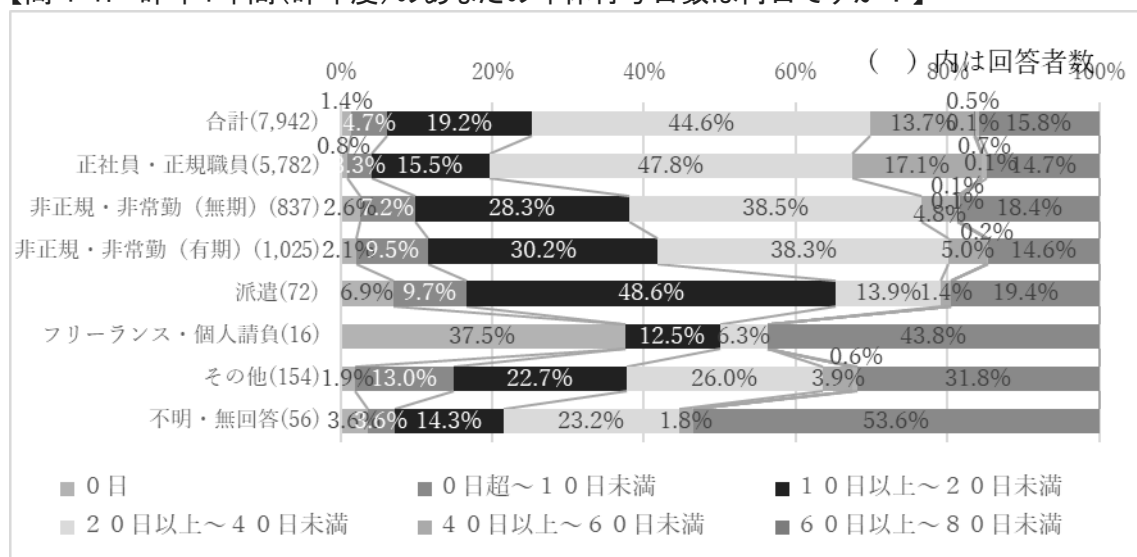
「上司の命令だから」は全体で2.2%（前回1.9%）にとどまり（非正規：無期3.6%、有期3.1%）人員不足の中で個人に責任が負わされ、明確な上司の命令なしに残業に追い込まれている様子が見える。

職業別にみると、「自らの責任でやらなければならない仕事だから」は、教職員79.1%（前回80.5%）、マスコミ関係76.2%（前回78.1%）が多い（件数が少ないが参考値として研究職も88.9%）。「要員・人手不足だから」が多いのは、製造69.8%、清掃60.0%、販売・店員59.8%、看護師57%、調理46.2%、介護・福祉職場42.0%、学童保育41.3%。「顧客・利用者・患者・生徒などに迷惑がかかるから」は、教職員で39.4%と一番多く、外交・営業29.2%。マスコミ関係28.6%、建設関係25.9%、その他専門・技術職22.0%、介護・福祉職場17.5%、看護師17.1%と対人労働の職場が中心となった。

雇用形態にかかわらず「自らの責任でやらなければならない仕事だから」が一番多い。非正規でも正規と同様に、責任を負わされていることがわかる。

()は回答数 表は回答数を100% としたときの各選択肢 の回答割合	残業を 組み込んだ 業務だから	要員・ 人手不足 だから	上司の命 令だから	自らの 責任でや らなければ ならない仕 事だから	仲間に迷 惑がかかる から	顧客・利 用者・患 者・生徒な どに迷惑が かかるから	勤務成 績に影響す るから	収入を確 保するた め	その他	不明・無 回答
合計 (6052)	14.4	42.3	2.2	63.0	15.5	19.8	1.1	2.3	5.5	2.5
一般事務 (1358)	11.1	39.0	1.3	67.2	11.9	17.4	0.7	2.0	5.3	3.0
外交・営業 (113)	8.8	19.5	0.9	66.4	10.6	29.2	4.4	3.5	8.0	5.3
製造 (53)	15.1	69.8	7.5	50.9	13.2	18.9	3.8	13.2	5.7	0.0
マスコミ関係 (21)	9.5	33.3	4.8	76.2	14.3	28.6	4.8	0.0	0.0	0.0
調理 (93)	20.4	46.2	2.2	39.8	12.9	7.5	0.0	2.2	2.2	9.7
清掃 (5)	40.0	60.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
販売・店員 (112)	14.3	59.8	4.5	49.1	14.3	17.9	1.8	2.7	4.5	3.6
教職員 (559)	17.2	29.3	0.9	79.1	22.0	39.4	0.5	0.0	4.7	1.6
保育士 (271)	16.2	34.3	1.5	67.2	14.0	12.5	0.4	1.1	10.0	3.0
看護師 (1429)	12.1	57.0	2.7	61.5	20.2	17.1	0.8	1.5	5.2	1.5
学童保育 (75)	21.3	41.3	1.3	42.7	10.7	14.7	0.0	1.3	13.3	5.3
介護・福祉職場 (553)	11.9	42.0	2.5	57.5	14.6	17.5	1.1	1.1	4.3	4.2
研究職 (9)	11.1	33.3	11.1	88.9	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0
その他専門・技術職 (786)	17.9	37.7	2.4	63.5	15.1	22.0	0.9	4.1	5.0	1.5
運輸・交通関係 (118)	33.1	26.3	6.8	45.8	6.8	11.9	6.8	10.2	3.4	2.5
金融 (35)	20.0	37.1	0.0	57.1	5.7	20.0	2.9	2.9	14.3	5.7
建設関係 (85)	21.2	43.5	4.7	56.5	14.1	25.9	2.4	4.7	0.0	0.0
通信関係 (17)	23.5	47.1	0.0	52.9	11.8	17.6	0.0	0.0	5.9	0.0
その他 (279)	16.8	34.8	1.8	55.2	11.5	17.6	2.5	3.9	8.6	2.2
不明・無回答 (81)	12.3	35.8	2.5	53.1	11.1	17.3	2.5	6.2	8.6	4.9

【問 4-1. 昨年1年間(昨年度)のあなたの年休付与日数は何日ですか？】



■年休付与日数は正規・非正規雇用では20日以上40日未満が最多だが、派遣では10日以上20日未満が最多で、フリーランス・個人請負では0日が最多

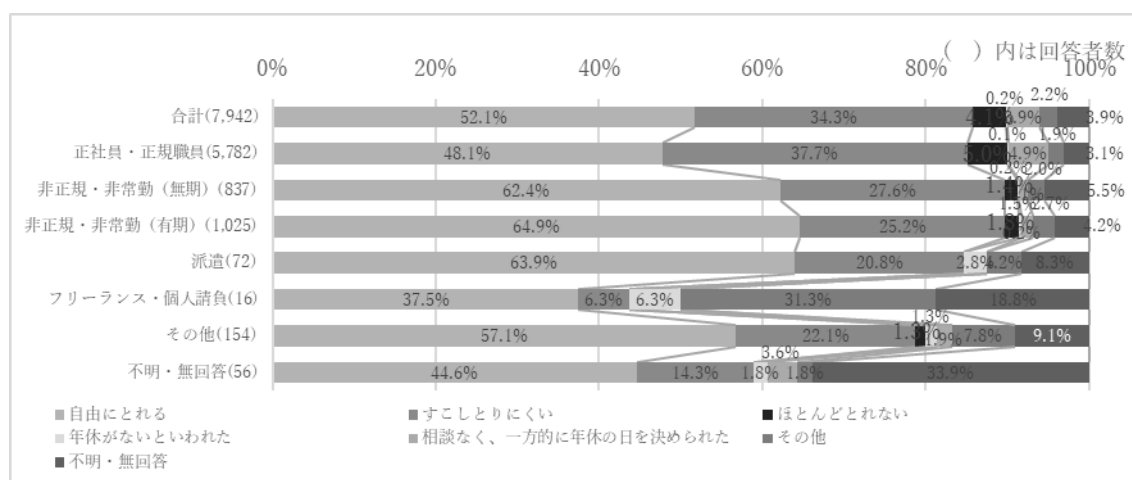
今回より新設した設問項目である。雇用形態別で大きな格差がでている。また、職種別では、おおむね20日以上40日未満が最多だが、建設関係は10日以上20日未満が最多。

下段: %

	合計	0日	0日超～10日未満	10日以上～20日未満	20日以上～40日未満	40日以上～60日未満	60日以上～80日未満	80日以上～100日未満	100日以上	不明・無回答
合計	7,942	1.4	4.7	19.2	44.6	13.7	0.0	0.1	0.5	15.8
一般事務	1,966	1.0	2.6	17.5	54.6	13.2	0.0	0.1	0.2	10.8
外交・営業	132	2.3	8.3	18.9	40.9	7.6	0.0	0.0	0.8	21.2
製造	87	2.3	11.5	28.7	39.1	5.7	0.0	0.0	0.0	12.6
マスコミ関係	29	0.0	0.0	20.7	41.4	20.7	0.0	0.0	0.0	17.2
調理	143	2.1	9.8	24.5	32.9	7.0	0.0	0.7	1.4	21.7
清掃	34	2.9	17.6	14.7	17.6	2.9	0.0	0.0	0.0	44.1
販売・店員	166	4.2	7.2	29.5	36.7	3.0	0.0	0.6	2.4	16.3
教職員	615	0.3	2.0	3.6	48.5	37.4	0.2	0.2	0.0	8.0
保育士	327	0.6	1.5	11.9	47.7	26.9	0.0	0.0	0.6	10.7
看護師	1,663	1.3	6.0	19.7	37.5	13.7	0.0	0.0	0.8	21.0
学童保育	85	2.4	12.9	11.8	51.8	8.2	0.0	0.0	0.0	12.9
介護・福祉職場	746	1.3	8.7	22.1	33.9	9.7	0.0	0.0	0.8	23.5
研究職	11	0.0	0.0	9.1	72.7	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他専門・技術職	1,004	1.5	2.9	20.3	51.0	10.6	0.0	0.0	0.9	12.8
運輸・交通関係	168	3.6	7.7	29.2	34.5	6.5	0.0	0.0	0.0	18.5
金融	51	0.0	3.9	31.4	33.3	15.7	0.0	0.0	0.0	15.7
建設関係	100	6.0	3.0	46.0	28.0	6.0	0.0	0.0	0.0	11.0
通信関係	19	0.0	0.0	42.1	42.1	5.3	0.0	0.0	0.0	10.5
その他	475	1.5	5.3	26.5	41.9	6.1	0.0	0.0	0.2	18.5
不明・無回答	121	0.8	3.3	15.7	44.6	5.0	0.0	0.0	0.0	30.6

【問 4-2. 年休は、とりたいときにとれますか？】

上段:度数 下段:%	合計	自由にとれる	すこしとりにくい	ほとんどとれない	年休がないといわれた	相談なく、一方的に年休の日を決められた	その他	不明・無回答
合計	7,942	4,134	2,724	322	14	313	177	313
	100.0	52.1	34.3	4.1	0.2	3.9	2.2	3.9
正社員・正規職員	5,782	2,782	2,177	290	4	284	111	182
	100.0	48.1	37.7	5.0	0.1	4.9	1.9	3.1
非正規・非常勤(無期)	837	522	231	12	2	9	17	46
	100.0	62.4	27.6	1.4	0.2	1.1	2.0	5.5
非正規・非常勤(有期)	1,025	665	258	18	2	15	28	43
	100.0	64.9	25.2	1.8	0.2	1.5	2.7	4.2
派遣	72	46	15	0	2	0	3	6
	100.0	63.9	20.8	0.0	2.8	0.0	4.2	8.3
フリーランス・個人請負	16	6	1	0	1	0	5	3
	100.0	37.5	6.3	0.0	6.3	0.0	31.3	18.8
その他	154	88	34	2	2	3	12	14
	100.0	57.1	22.1	1.3	1.3	1.9	7.8	9.1
不明・無回答	56	25	8	0	1	2	1	19
	100.0	44.6	14.3	0.0	1.8	3.6	1.8	33.9



■年次有給休暇の取得しやすさは法改正で改善の傾向だが、教職員、看護師、保育士は取りにくい

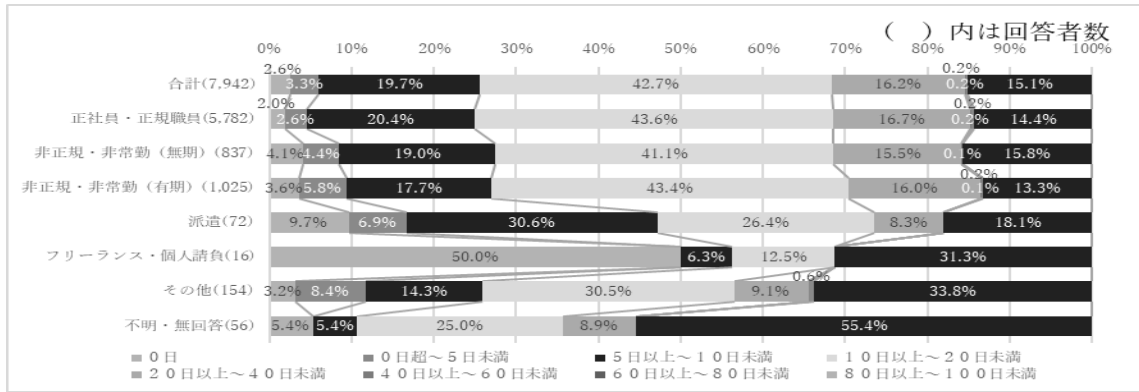
年次有給休暇の年5日以上の取得義務化が2019年4月より実施され、「年次有給休暇はとりたいときにとれますか」との問いに、「自由にとれる」と答えた人の割合は、10年前の41.4%、5年前の50.4%からさらに改善し52.1%となった。雇用形態別でも、前回の、正規47.3%、非正規62.6%から、正規48.1%、非正規(無期)62.4%、非正規(有期)64.9%、派遣63.9%、フリーランス37.5%と改善はしているが、まだ半数を超えた程度であり、「少し取りにくい」は、37.6%が34.3%と若干の改善にとどまっている。「ほとんどとれない」は、5年前の5.8%から4.1%に改善し、「年休がないといわれた」は、5年前と同じ0.2%。

5年前に新たに作った選択肢で、「相談なく一方的に年休を決められた」は、正規3.0%、非正規1.2%から、正規4.9%、非正規(無期)1.1%、非正規(有期)1.5%、一定の割合で年休の義務化で強制取得が押し付けられている。

また、職種別にみると、「ほとんどとれない」は、教職員11.2%(5年前10.7%)、看護師5.0%(5年前10.4%)、保育士8.9%(5年前10.4%)で高くなっている。

上段:度数 下段:%	合計	自由にと れる	すこしと りにくい	ほとんど とれない	年休がな いといわ れた	相談なく、 一方的に 年休の日 を決めら れた	その他	不明・無回 答
合計	7,942	4,134	2,724	322	14	313	177	313
	100.0	52.1	34.3	4.1	0.2	3.9	2.2	3.9
一般事務	1,966	1,260	582	34	2	4	27	61
	100.0	64.1	29.6	1.7	0.1	0.2	1.4	3.1
外交・営業	132	83	44	0	0	0	1	4
	100.0	62.9	33.3	0.0	0.0	0.0	0.8	3.0
製造	87	61	21	1	0	1	1	2
	100.0	70.1	24.1	1.1	0.0	1.1	1.1	2.3
マスコミ関係	29	19	7	1	0	1	0	2
	100.0	65.5	24.1	3.4	0.0	3.4	0.0	6.9
調理	143	57	51	3	0	18	6	8
	100.0	39.9	35.7	2.1	0.0	12.6	4.2	5.6
清掃	34	20	4	1	1	0	2	6
	100.0	58.8	11.8	2.9	2.9	0.0	5.9	17.6
販売・店員	166	86	55	11	1	0	8	6
	100.0	51.8	33.1	6.6	0.6	0.0	4.8	3.6
教職員	615	208	310	69	0	2	14	14
	100.0	33.8	50.4	11.2	0.0	0.3	2.3	2.3
保育士	327	119	158	29	0	4	10	9
	100.0	36.4	48.3	8.9	0.0	1.2	3.1	2.8
看護師	1,663	672	609	83	3	207	60	59
	100.0	40.4	36.6	5.0	0.2	12.4	3.6	3.5
学童保育	85	39	33	6	2	0	1	4
	100.0	45.9	38.8	7.1	2.4	0.0	1.2	4.7
介護・福祉職 場	746	385	227	40	0	47	17	41
	100.0	51.6	30.4	5.4	0.0	6.3	2.3	5.5
研究職	11	7	4	0	0	0	0	0
	100.0	63.6	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他専門・ 技術職	1,004	564	347	21	1	17	15	42
	100.0	56.2	34.6	2.1	0.1	1.7	1.5	4.2
運輸・交通関 係	168	80	66	8	2	4	2	7
	100.0	47.6	39.3	4.8	1.2	2.4	1.2	4.2
金融	51	27	21	2	0	0	0	1
	100.0	52.9	41.2	3.9	0.0	0.0	0.0	2.0
建設関係	100	71	16	3	0	1	3	6
	100.0	71.0	16.0	3.0	0.0	1.0	3.0	6.0
通信関係	19	13	5	0	0	0	0	1
	100.0	68.4	26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
その他	475	303	132	6	2	4	9	19
	100.0	63.8	27.8	1.3	0.4	0.8	1.9	4.0
不明・無回答	121	60	32	4	0	3	1	21
	100.0	49.6	26.4	3.3	0.0	2.5	0.8	17.4

【問 4-3. あなたは昨年1年間(昨年度)、年休を何日使いましたか？】



■年休取得5日義務化後も法違反の5日未満が3.7%

今回は調査方法を変えて、付与日数と取得日数を実数で書き込んでもらった。年次有給休暇の

上段:度数 下段:%	合計	0日	0日超～5日未満	5日以上～10日未満	10日以上～20日未満	20日以上～40日未満	40日以上～60日未満	60日以上～80日未満	80日以上～100日未満	100日以上	不明・無回答
合計	7,942	207	266	1,566	3,391	1,284	12	1	0	16	1,199
	100.0	2.6	3.3	19.7	42.7	16.2	0.2	0.0	0.0	0.2	15.1
正社員・正規職員	5,782	113	152	1,178	2,520	965	10	1	0	13	830
	100.0	2.0	2.6	20.4	43.6	16.7	0.2	0.0	0.0	0.2	14.4
非正規・非常勤(無期)	837	34	37	159	344	130	1	0	0	0	132
	100.0	4.1	4.4	19.0	41.1	15.5	0.1	0.0	0.0	0.0	15.8
非正規・非常勤(有期)	1,025	37	59	181	445	164	1	0	0	2	136
	100.0	3.6	5.8	17.7	43.4	16.0	0.1	0.0	0.0	0.2	13.3
派遣	72	7	5	22	19	6	0	0	0	0	13
	100.0	9.7	6.9	30.6	26.4	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	18.1
フリーランス・個人請負	16	8	0	1	2	0	0	0	0	0	5
	100.0	50.0	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3
その他	154	5	13	22	47	14	0	0	0	1	52
	100.0	3.2	8.4	14.3	30.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.6	33.8
不明・無回答	56	3	0	3	14	5	0	0	0	0	31
	100.0	5.4	0.0	5.4	25.0	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	55.4

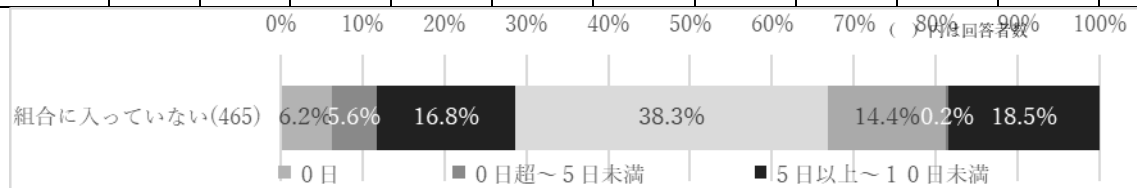
年5日以上の取得義務化が2019年4月より実施されている。10日以上年休を付与されている人6203人から無回答330人を引いた5873人で見ると「0日」が63人(1.1)%で、「0日超～5日未満」152人(2.6%)と合わせて3.7%が法違反状態になっている。年休取得が「0日」の正規は0.8%から2.0%、非正規2.9%から非正規(無期)4.1%、非正規(有期)3.6%と微増している。派遣では9.7%、フリーランスは50.0%と、雇用形態による格差は大きい。

「組合に入っていない」回答者で、「0日」は6.2%、「0日超～5日未満」が5.6%と高い結果。

職種別では、清掃で0日は5.9%、5日未満14.7%、学童保育で0日は7.1%、5日未満10.6%、運輸・交通で0日は5.4%、5日未満5.4%、建設関連で0日は7.0%、5日未満3.0%。

上段:度数 下段:%	合計	0日	0日超～5日未満	5日以上～10日未満	10日以上～20日未満	20日以上～40日未満	40日以上～60日未満	60日以上～80日未満	80日以上～100日未満	100日以上	不明・無回答
合計	7,942	207	266	1,566	3,391	1,284	12	1	0	16	1,199
	100.0	2.6	3.3	19.7	42.7	16.2	0.2	0.0	0.0	0.2	15.1
一般事務	1,966	39	42	303	974	397	0	1	0	2	208
	100.0	2.0	2.1	15.4	49.5	20.2	0.0	0.1	0.0	0.1	10.6
外交・営業	132	5	1	40	47	17	0	0	0	0	22
	100.0	3.8	0.8	30.3	35.6	12.9	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
製造	87	2	4	25	34	13	0	0	0	0	9
	100.0	2.3	4.6	28.7	39.1	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3
マスコミ関係	29	0	1	6	13	2	0	0	0	0	7
	100.0	0.0	3.4	20.7	44.8	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	24.1
調理	143	6	11	30	55	14	1	0	0	0	26
	100.0	4.2	7.7	21.0	38.5	9.8	0.7	0.0	0.0	0.0	18.2
清掃	34	2	5	7	6	2	0	0	0	0	12
	100.0	5.9	14.7	20.6	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	35.3
販売・店	166	8	9	37	64	19	1	0	0	1	27

員	100.0	4.8	5.4	22.3	38.6	11.4	0.6	0.0	0.0	0.6	16.3
教職員	615	6	40	107	307	102	1	0	0	0	52
	100.0	1.0	6.5	17.4	49.9	16.6	0.2	0.0	0.0	0.0	8.5
保育士	327	3	14	95	136	38	0	0	0	0	41
	100.0	0.9	4.3	29.1	41.6	11.6	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
看護師	1,663	42	48	304	673	245	6	0	0	4	341
	100.0	2.5	2.9	18.3	40.5	14.7	0.4	0.0	0.0	0.2	20.5
学童保育	85	6	9	14	26	20	0	0	0	0	10
	100.0	7.1	10.6	16.5	30.6	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8
介護・福祉職場	746	23	26	208	254	86	1	0	0	3	145
	100.0	3.1	3.5	27.9	34.0	11.5	0.1	0.0	0.0	0.4	19.4
研究職	11	0	0	0	8	2	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	72.7	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
その他専門・技術職	1,004	26	15	201	437	190	2	0	0	5	128
	100.0	2.6	1.5	20.0	43.5	18.9	0.2	0.0	0.0	0.5	12.7
運輸・交通関係	168	9	9	37	56	28	0	0	0	0	29
	100.0	5.4	5.4	22.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	17.3
金融	51	2	1	24	15	5	0	0	0	0	4
	100.0	3.9	2.0	47.1	29.4	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8
建設関係	100	7	3	19	51	8	0	0	0	0	12
	100.0	7.0	3.0	19.0	51.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0
通信関係	19	1	0	6	6	3	0	0	0	0	3
	100.0	5.3	0.0	31.6	31.6	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8
その他	475	18	21	86	190	76	0	0	0	1	83
	100.0	3.8	4.4	18.1	40.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.2	17.5
不明・無回答	121	2	7	17	39	17	0	0	0	0	39
	100.0	1.7	5.8	14.0	32.2	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.2



■子育て世代には、取得しやすい「子育て休暇制度」が必要

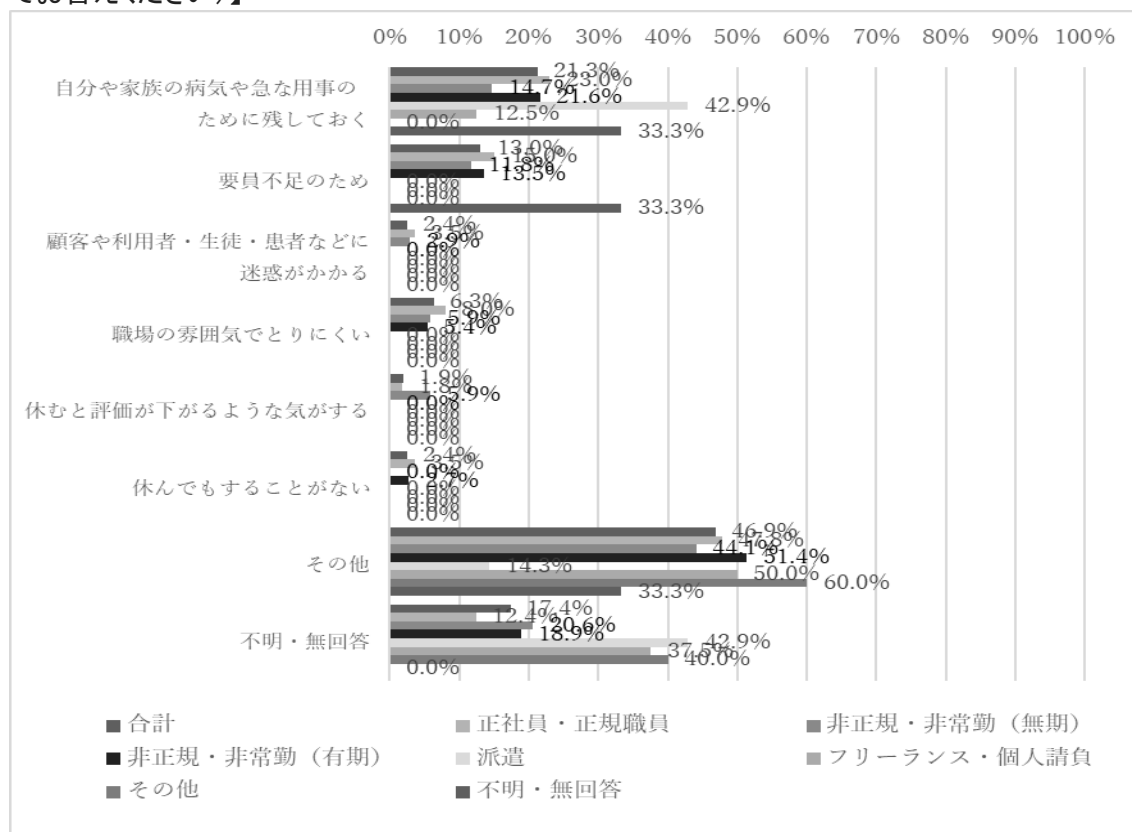
年休の用途は、「旅行・趣味」51.1%、「自分の病気」43.1%、「休養」42.2%、「子どもの保育・授業参観・行事参加」26.0%、「家族の病気、通院」25.9%の順で、コロナ禍の5年前の調査では、「休養」が1番だったが、今回は「旅行・趣味」が若干上回った。

「旅行・趣味」が1番の年代は、「15～19歳」「20～24歳」「25～30歳」「35～39歳」「60歳以上」。

「子どもの保育・授業参観・行事参加」が1番の年代は、「35～39歳」「40～44歳」「45～49歳」で5年前と同様で、取得しやすい「子育て休暇制度」の必要性を示す結果となっている。

上段: 度数 下段:%	合計	旅行・ 趣味	休養	組 合 活 動 等	自 分 の 病 気 ・ 通 院	家 族 の 病 気 ・ 通 院	親 の 介 護	保 育 ・ 授 業 参 観 ・ 行 事 参 加	冠 婚 葬 祭	家 事 な ど	不 妊 治 療	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
合計	6,536 100.0	3,337 51.1	2,757 42.2	375 5.7	2,819 43.1	1,692 25.9	511 7.8	1,701 26.0	467 7.1	510 7.8	48 0.7	345 5.3	13 0.2
15～ 19歳	7 100.0	6 85.7	2 28.6	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20～ 24歳	381 100.0	308 80.8	179 47.0	18 4.7	143 37.5	15 3.9	0 0.0	4 1.0	18 4.7	3 0.8	0 0.0	25 6.6	0 0.0
25～ 29歳	722 100.0	595 82.4	378 52.4	34 4.7	286 39.6	58 8.0	3 0.4	24 3.3	66 9.1	17 2.4	6 0.8	30 4.2	2 0.3
30～ 34歳	518 100.0	317 61.2	258 49.8	17 3.3	248 47.9	120 23.2	4 0.8	121 23.4	32 6.2	26 5.0	22 4.2	19 3.7	0 0.0
35～ 39歳	549 100.0	252 45.9	212 38.6	21 3.8	209 38.1	209 38.1	8 1.5	277 50.5	22 4.0	25 4.6	10 1.8	16 2.9	0 0.0
40～ 44歳	692 100.0	264 38.2	233 33.7	19 2.7	273 39.5	265 38.3	22 3.2	407 58.8	29 4.2	38 5.5	9 1.3	32 4.6	0 0.0
45～ 49歳	904 100.0	338 37.4	332 36.7	42 4.6	381 42.1	308 34.1	56 6.2	456 50.4	47 5.2	67 7.4	1 0.1	38 4.2	3 0.3
50～ 54歳	1,122 100.0	482 43.0	462 41.2	80 7.1	528 47.1	317 28.3	129 11.5	311 27.7	66 5.9	114 10.2	0 0.0	68 6.1	1 0.1
55～ 59歳	862 100.0	391 45.4	364 42.2	63 7.3	404 46.9	229 26.6	169 19.6	81 9.4	113 13.1	112 13.0	0 0.0	59 6.8	5 0.6
60～ 64歳	518 100.0	258 49.8	226 43.6	56 10.8	244 47.1	118 22.8	92 17.8	12 2.3	51 9.8	63 12.2	0 0.0	38 7.3	0 0.0
65歳 以上	240 100.0	118 49.2	104 43.3	25 10.4	95 39.6	48 20.0	23 9.6	2 0.8	23 9.6	42 17.5	0 0.0	19 7.9	2 0.8
不 明 ・ 無 回 答	21 100.0	8 38.1	7 33.3	0 0.0	7 33.3	5 23.8	5 23.8	6 28.6	0 0.0	3 14.3	0 0.0	1 4.8	0 0.0

【問 4-5. あなたが年休をとらなかった(とれなかった)理由はなんですか？(主な理由を3つ以内でお答えください)】



■ 「自分や家族の病気や休養のために残しておく」「要員不足」が二大理由-前回調査と同じ

年休をとらなかった理由を3つ以内で答えてもらったが、正規では「自分や家族の病気や休養のために残しておく」「要員不足」「職場の雰囲気ですりづらい」となっている。雇用形態別でも「自分や家族の病気や休養のために残しておく」「要員不足」となっている。

「要員不足」の理由で比率が高いのは、「調理」33.3%、「学童保育」33.3%、「運輸・交通関係」22.2%、「看護師」14.3%となっており、「職場の雰囲気ですりづらい」は、「建設関連」28.6%、「介護・福祉」17.4%、「顧客や利用者・生徒・患者などに迷惑がかかる」は「教職員」16.7%、「建設関連」14.3%と、人員増はこの点からも喫緊の課題である。

問5-1. 家族(配偶者・子・親など)のために、2週間以上の介護・看護が必要になった方にお聞きします。(複数回答可)

No.	カテゴリ	件数	%
1	介護休業をとった	83	10.5
2	短期の介護休暇をとった	118	14.9
3	年休をとった	424	53.4
4	その他の休暇・休職をとった	89	11.2
5	欠勤した	81	10.2
6	ヘルパー・介護保険制度を利用した	61	7.7
7	介護が可能な勤務形態・職種に変えた	27	3.4
8	退職した	26	3.3
9	その他	139	17.5
	回答者数	794	100.0

回答者数を100としたときの各選択肢の回答割合(%)	回答者数	介護休業をとった	短期の介護休暇をとった	年休をとった	その他の休暇・休職をとった	欠勤した	ヘルパー・介護保険制度を利用した	介護が可能な勤務形態・職種に変えた	退職した	その他
合計	794	10.5	14.9	53.4	11.2	10.2	7.7	3.4	3.3	17.5
正社員・正規職員	494	13.4	17.2	55.9	13.2	6.1	8.1	3.0	1.4	14.4
非正規・非常勤(無期)	107	7.5	7.5	48.6	10.3	18.7	7.5	1.9	6.5	25.2
非正規・非常勤(有期)	149	4.0	16.8	55.0	8.1	14.8	6.0	4.7	6.0	17.4
派遣	8	0.0	0.0	62.5	0.0	62.5	0.0	0.0	12.5	25.0
フリーランス・個人請負	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0
その他	30	10.0	0.0	23.3	3.3	13.3	10.0	6.7	3.3	40.0
不明・無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■介護のために「年休をとった」人の割合は53.4%、短期の介護休暇の取得は14.9%、いっそうの改善が求められる

2週間以上の介護・看護が必要になった人の対応として、もっとも多かったのが「年休をとった」53.4%（前回53.0%）であり、「短期の介護休暇をとった」14.9%（前回20.1%）、「その他の休暇・休職をとった」11.2%（前回11.3%）。また、「介護休業をとった」は10.5%で、前回の9.1%とほとんど前回と同様で、取得率は高まっていない。その他の休暇・休職をとった割合が、「介護休業をとった」より、正規も非正規も上回っていることから、使い勝手の良い制度となっていないことが明らかである。

そして、ヘルパー・介護保険制度を利用した人の割合は7.7%（前回7.3%）と微増にとどまっている。介護と仕事の両立のために、介護保険制度の周知、利用の促進と使いやすい介護保険制度への改善も強く求められている。

問 5-2. 家族(配偶者・子・親など)のために、2週間以上の介護・看護を必要としたが、介護・看護休暇を取得しなかった方にお聞きします。(複数回答可)

■介護休暇をとらなかった一番の理由は、「人手不足や職場の状況」

2週間以上の介護・看護を必要としたが、介護休業・介護(看護)休暇を取得しなかった理由として、もっとも多いのは「人手不足や職場の状況からとらなかった」であり、全体の26.3%(前回35.6%)にのぼっている。

また、「制度があるのを知らなかった」は、正規では12.3%(前回10.1%)、非正規(無期)は25.3%、非正規(有期)20.0%(前回の非正規20.1%)と改善はみられない。非正規(無期)で「就業規則にない」が20.7%、「無給・介護休業手当金が少ないなど、経済的理由でとらなかった」が非正規(有期)で19.2%、派遣では33.3%であることから、介護保険制度の周知、利用の促進と介護保険制度の拡充が強く求められている。

上段:度数 家族(配偶者・子・親など)のために、2週間以上の介護・看護を必要としたが、介護・看護休暇を取得しなかった方にお聞きします。(複数回答可)

下段:%	不明無回答を除く	就業規則にない	期間・回数等の条件が悪くならなかった	無給・介護休業手当金が少ないなど、経済的理由でとらなかった	手続きがめんどうでとらなかった	人員不足や職場の状況からとらなかった	申請したが認められなかった	自分以外の介護者がいて必要なかった	制度があるのを知らなかった	その他
合計	589 100.0	59 10.0%	42 7.1%	84 14.3%	60 10.2%	155 26.3%	9 1.5%	102 17.3%	100 17.0%	138 23.4%
正社員・正規職員	373 100.0	28 7.5%	21 5.6%	49 13.1%	40 10.7%	118 31.6%	5 1.3%	71 19.0%	46 12.3%	78 20.9%
非正規・非常勤(無期)	87 100.0	18 20.7%	7 8.0%	6 6.9%	5 5.7%	14 16.1%	1 1.1%	8 9.2%	22 25.3%	23 26.4%
非正規・非常勤(有期)	120 100.0	7 5.8%	12 10.0%	23 19.2%	13 10.8%	17 14.2%	2 1.7%	22 18.3%	24 20.0%	26 21.7%
派遣	9 100.0	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%

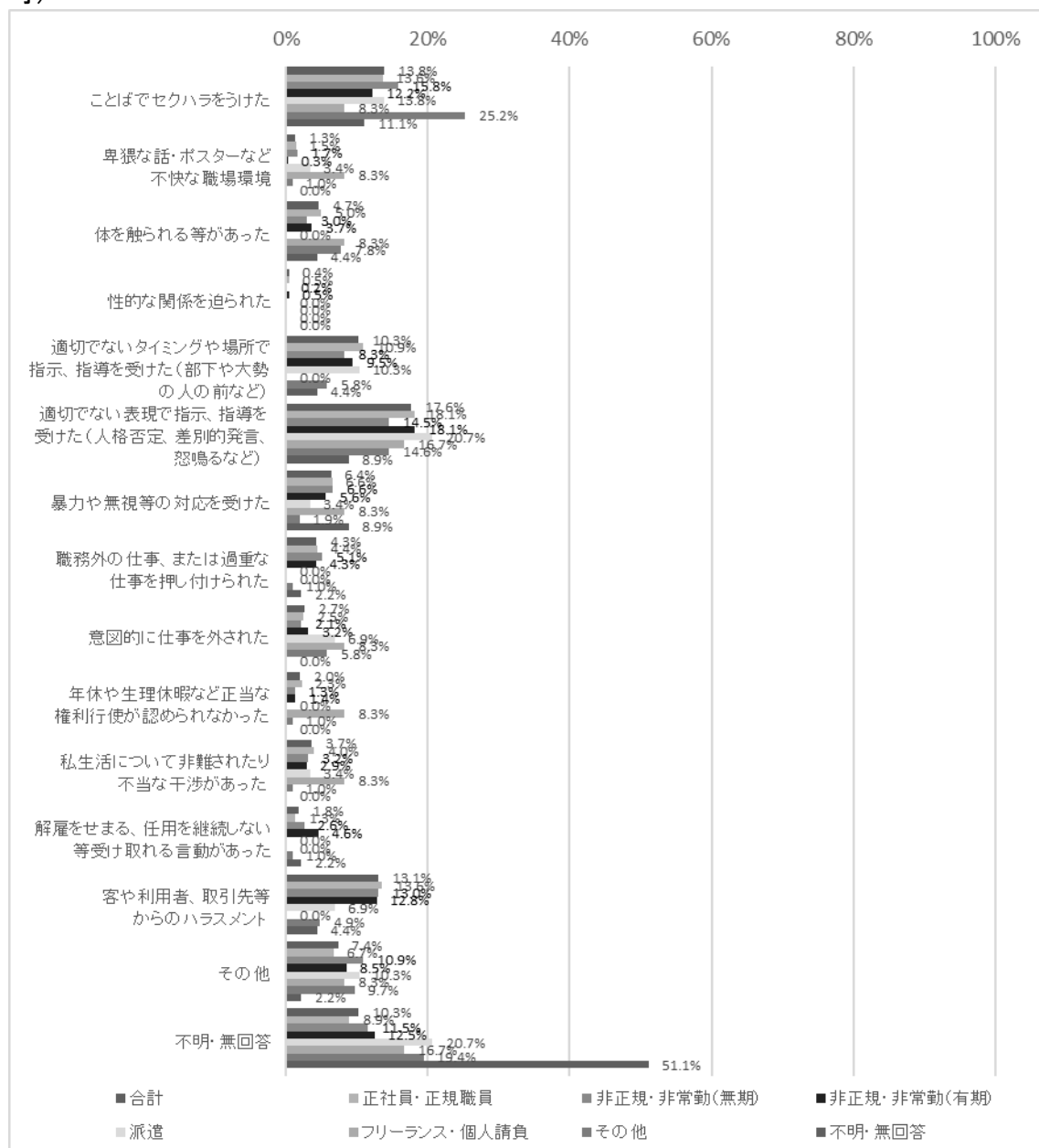
問 5-3. 介護休業(休暇)を取りやすくするため、もっとも要求したいことはなんですか？(最も要求したい項目を3つ以内でお答えください)

上段:度数	介護休業(休暇)を取りやすくするため、もっとも要求したいことはなんですか？(最も要求したい項目を3つ以内でお答えください)										
下段:%	不明無回答を除く合計	期間の延長	人員増	取得要件など「2週間以上の期間にわたり常時介護を必要とする状態」の緩和	取得できる回数を増やす	所得保障の増額	一時金の支給	代替要員の配置	申請手続きの改善	共済組合掛け金、社会保険の掛け金免除	その他
合計	4,700 100.0	1,131 24.1%	2,715 57.8%	1,090 23.2%	1,314 28.0%	821 17.5%	850 18.1%	1,206 25.7%	352 7.5%	187 4.0%	114 2.4%
正社員・正規職員	3,469 100.0	844 24.3%	2,136 61.6%	796 22.9%	953 27.5%	563 16.2%	594 17.1%	907 26.1%	248 7.1%	123 3.5%	74 2.1%
非正規・非常勤(無期)	496 100.0	131 26.4%	241 48.6%	100 20.2%	150 30.2%	99 20.0%	99 20.0%	127 25.6%	42 8.5%	22 4.4%	17 3.4%
非正規・非常勤(有期)	614 100.0	129 21.0%	283 46.1%	164 26.7%	184 30.0%	119 19.4%	126 20.5%	143 23.3%	50 8.1%	31 5.0%	16 2.6%
派遣	39 100.0	7 17.9%	11 28.2%	9 23.1%	5 12.8%	6 15.4%	7 17.9%	7 17.9%	5 12.8%	1 2.6%	2 5.1%
フリーランス・個人請負	8 100.0	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	4 50.0%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
その他	74 100.0	16 21.6%	32 43.2%	17 23.0%	17 23.0%	24 32.4%	16 21.6%	15 20.3%	3 4.1%	9 12.2%	5 6.8%
不明・無回答	20 100.0	2 10.0%	10 50.0%	2 10.0%	4 20.0%	6 30.0%	7 35.0%	5 25.0%	3 15.0%	1 5.0%	0 0.0%

■人員増と取得回数増、代替要員の配置、期間延長を求める声大きい

介護休業(休暇)をとりやすくするための要求は、今回新たな項目にした「人員増」が 57.8%と断トツに多く、これは非正規(無期・有期)、派遣も同様である。続いて「取得できる回数を増やす」28.0%(前回 37.9%)、「代替要員の配置」25.7%(前回 40.4%)、「期間の延長」24.1%(前回 33.5%)となっている。また、フリーランスでは 50.0%が「所得補償」を求めている。

問 6. あなたは職場でハラスメント(セクハラ・パワハラ)を受けたことがありますか？(複数回答可)



上段:度数 下段:%	合計	ことばでセクハラをうけた	卑猥な話・ポスターなど不快な職場環境	体を触られる等があった	性的な関係を迫られた	適切でないタイミングや場所で指示、指導を受けた(部下や大勢の人の前など)	適切でない表現で指示、指導を受けた(人格否定、差別的発言、怒鳴るなど)	暴力や無視等の対応を受けた	職務外の仕事、または過重な仕事を押し付けられた	意図的に仕事を外された	年休や生理休暇など正当な権利行使が認められなかった	私生活について非難されたり不当な干渉があった	解雇をせまる、任用を継続しない等受け取れる言動があった	客や利用者、取引先等からのハラスメント	その他	ハラスメントはない	不明・無回答
合計	7,942	712	69	241	22	530	907	328	222	137	105	191	95	673	380	4,645	529
	100.0	9.0	0.9	3.0	0.3	6.7	11.4	4.1	2.8	1.7	1.3	2.4	1.2	8.5	4.8	58.5	6.7
正社員・正規職員	5,782	522	56	192	18	418	693	252	168	97	88	154	51	519	258	3,356	342
	100.0	9.0	1.0	3.3	0.3	7.2	12.0	4.4	2.9	1.7	1.5	2.7	0.9	9.0	4.5	58.0	5.9
非正規・非常勤(無期)	837	74	8	14	1	39	68	31	24	10	6	15	12	61	51	523	54
	100.0	8.8	1.0	1.7	0.1	4.7	8.1	3.7	2.9	1.2	0.7	1.8	1.4	7.3	6.1	62.5	6.5
非正規・非常勤(有期)	1,025	80	2	24	3	62	119	37	28	21	9	19	30	84	56	596	82
	100.0	7.8	0.2	2.3	0.3	6.0	11.6	3.6	2.7	2.0	0.9	1.9	2.9	8.2	5.5	58.1	8.0
派遣	72	4	1	0	0	3	6	1	0	2	0	1	0	2	3	53	6
	100.0	5.6	1.4	0.0	0.0	4.2	8.3	1.4	0.0	2.8	0.0	1.4	0.0	2.8	4.2	73.6	8.3
フリーランス・個人請負	16	1	1	1	0	0	2	1	0	1	1	1	0	0	1	10	2
	100.0	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	12.5	6.3	0.0	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	62.5	12.5
その他	154	26	1	8	0	6	15	2	1	6	1	1	1	5	10	83	20
	100.0	16.9	0.6	5.2	0.0	3.9	9.7	1.3	0.6	3.9	0.6	0.6	0.6	3.2	6.5	53.9	13.0

■ハラスメントを受けた人は、3割、人格否定など「適切でない表現で指示、指導を受けた」「言葉でセクハラを受けた」が5年たっても多数

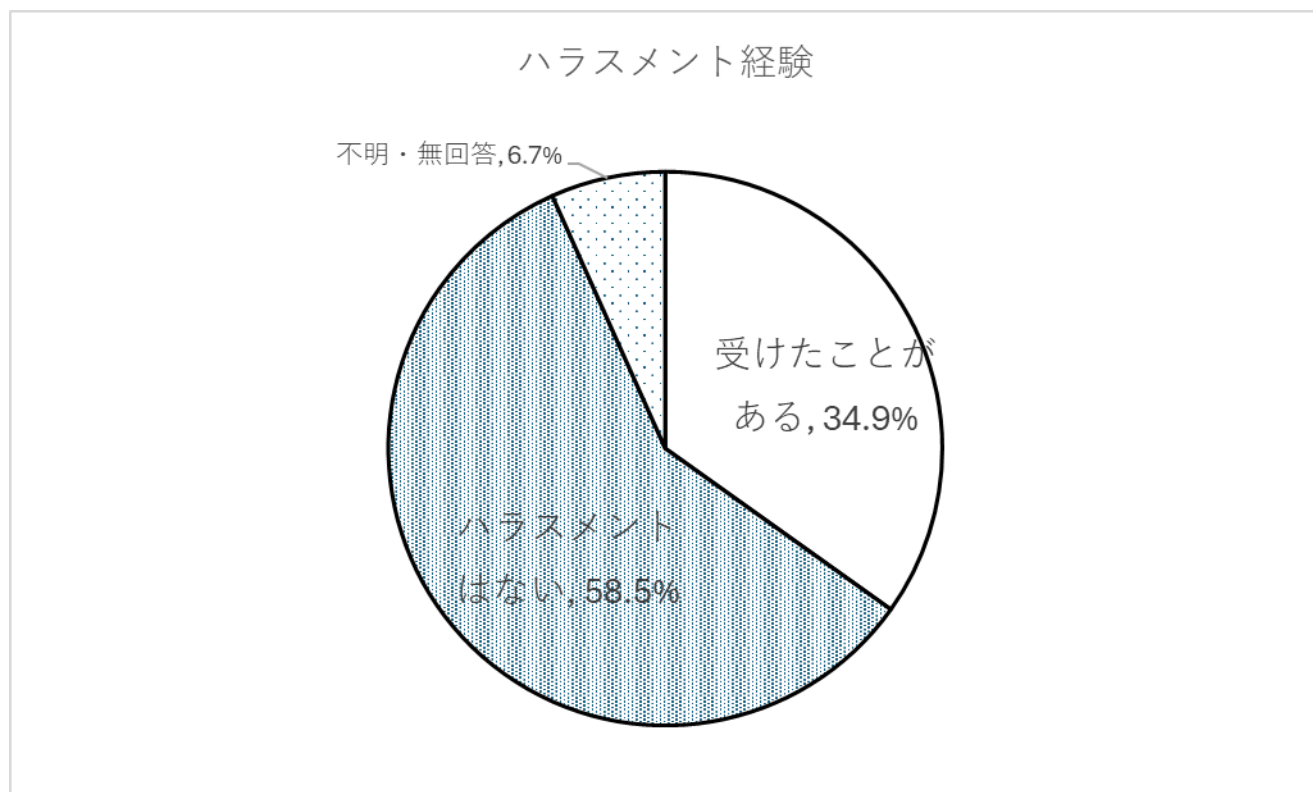
以前の調査では、セクハラとパワハラを分けていたが、セクハラ・パワハラはハラスメントという一体的な行為として現れることが多いため、5年前の2020年調査から、項目を分けて、ハラスメントの具体的な行為と有無を合わせて回答を求めている。

ハラスメントが「ある」と回答した人が34.8%（前回28.3%）で、「ない」と回答した人が58.5%（前回65.1%）であった。

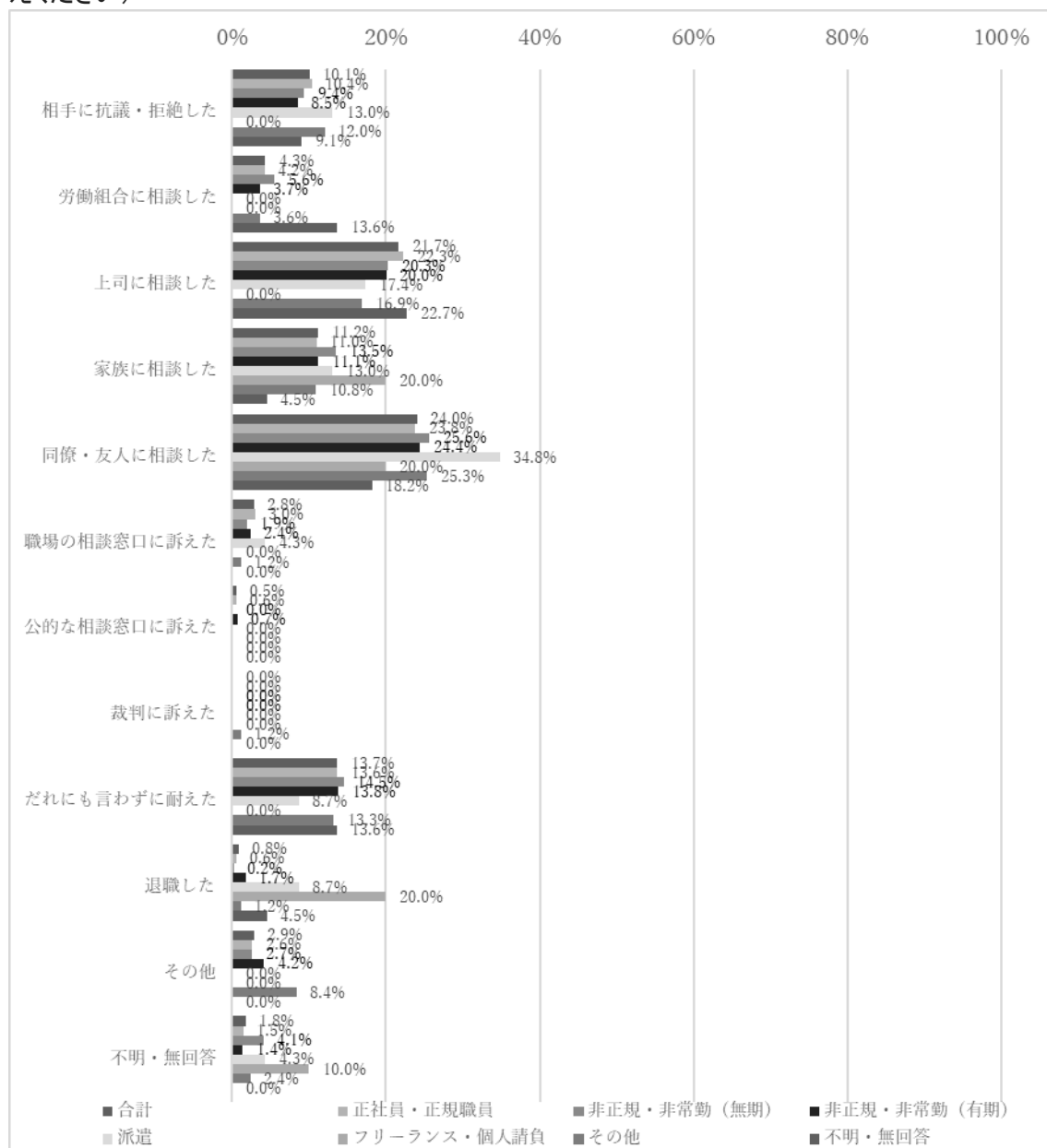
具体的な項目では、人格否定、差別的発言、怒鳴るなど「適切でない表現で指示、指導を受けた」が11.4%、「ことばでセクハラを受けた」9.0%、「客や利用者、取引先等からのハラスメント」8.5%、部下や大勢の人の前など「適切でないタイミングや場所で指示、指導を受けた」6.7%と続く。

非正規も以上の項目が高順位であり、非正規では、「解雇をせまる、任用を継続しない等受け取れる言動があった」が無期・有期合わせて4.3%（前回3.4%）となっており、脅迫・違法な対応がされている。

「体を触られる等があった」3.0%（前回8.8%）、「性的な関係を迫られた」0.3%（前回1.1%）、「私生活について非難されたり不当な干渉があった」2.4%（前回8.8%）と犯罪的なセクハラ被害は減ったものの、現在の「ハラスメント防止措置義務」だけではハラスメント根絶は難しい。



問 7-1. ハラスメントを受けたことがあると答えた人の対処方法は？（主なものを3つ以内でお答えください）

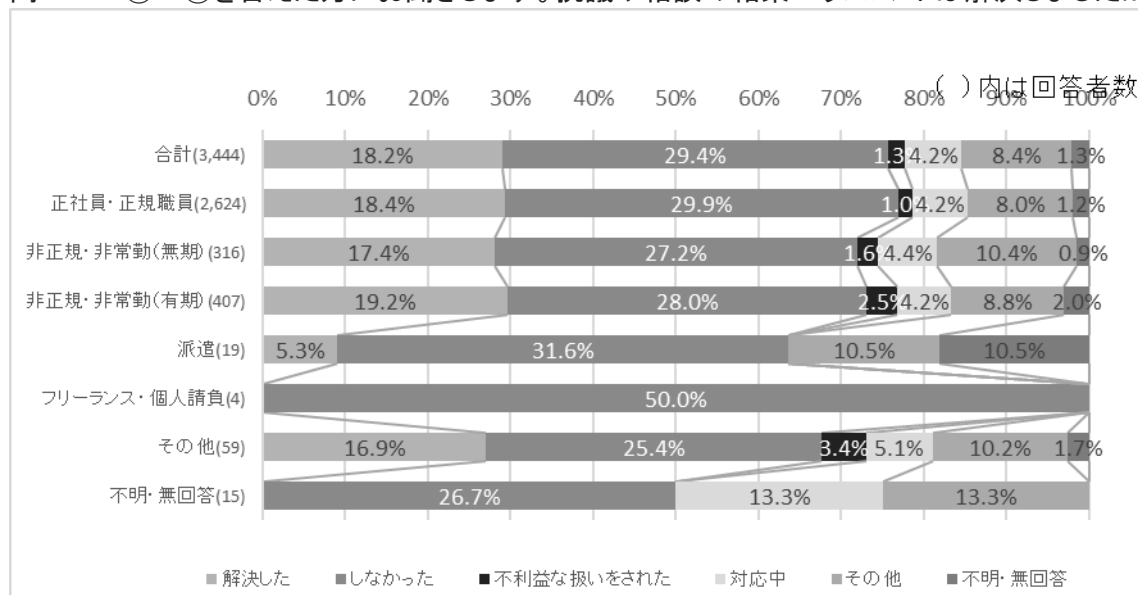


■4人に一人がハラスメントにあっても「だれにも言わずに耐えた」

ハラスメントを受けた人の対処方法として「同僚・友人に相談した」41.3%（前回 50.8%）、二番目に多い対処法は「上司に相談した」37.2%（前回 28.8%）、三番目が「だれにも言わずに耐えた」23.5%（前回 22.5%）に上っている。第四番目が「家族に相談した」19.3%（前回 19.5%）、第五番目が「相手に抗議・拒絶した」17.3%（前回 17.1）と続いている。

5年前同様で4人に一人が「誰にも言わずに堪えた」は深刻である。

問 7-2. ①～⑧を答えた方にお聞きします。抗議や相談の結果ハラスメントは解決しましたか？



上段：度数] 下段：%	合計	解決した	しなかった	不利益な 扱いをされ た	対応中	その他	不明・無回 答
合計	2,156 100.0	629 29.2	1,016 47.1	44 2.0	145 6.7	291 13.5	50 2.3
正社員・正規職員	1,638 100.0	484 29.5	786 48.0	27 1.6	109 6.7	211 12.9	35 2.1
非正規・非常勤(無期)	197 100.0	55 27.9	88 44.7	5 2.5	14 7.1	33 16.8	3 1.5
非正規・非常勤(有期)	264 100.0	79 29.9	115 43.6	10 3.8	17 6.4	37 14.0	9 3.4
派遣	11 100.0	1 9.1	6 54.5	0 0.0	0 0.0	2 18.2	2 18.2
フリーランス・個人請負	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	36 100.0	10 27.8	15 41.7	2 5.6	3 8.3	6 16.7	1 2.8
不明・無回答	8 100.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0

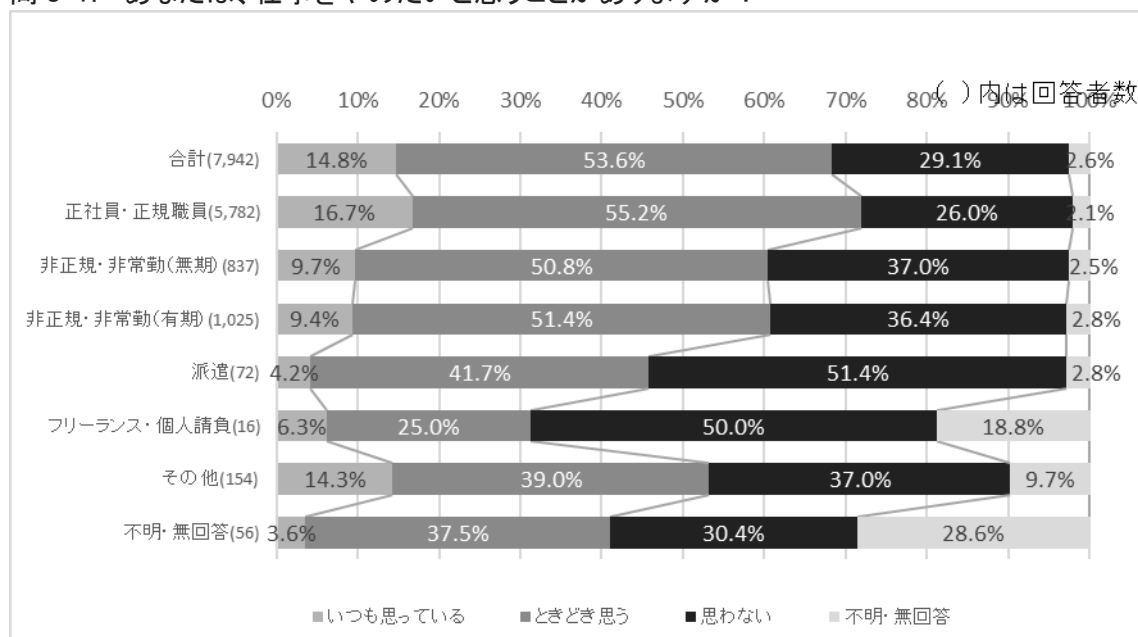
■抗議してもハラスメントが解決したのは3割、半数は解決しておらず、早急にハラスメント禁止法が必要

抗議や相談をして「解決した」は全体で29.2%（前回26.3%）は微増だが、正規29.5%、非正規（無期）27.9%、非正規（有期）29.9%だが、派遣は9.1%と非常に低い。

ハラスメントの抗議や相談をしたとしても「解決しなかった」47.1%（前回45.2%）で、正規48.0%（前回45.2%）、非正規は前回44.5%で今回は、非正規（無期）44.7%、非正規（有期）43.6%と前回同様であり、派遣は54.5%、フリーランスは100%との結果になった。また、「不利益な扱いをされた」とする人も2.0%（前回2.1%）おり、納得する解決が難しいことを表している。

ハラスメントのない職場づくりを進めることが基本だが、何よりも人権を大切に被害者の立場に立った対応をするハラスメント相談窓口の設置が求められる。また、包括的ハラスメント禁止法の制定が必要である。

問 8-1. あなたは、仕事をやめたいと思うことがありますか？



問 8 あなたは、仕事をやめたいと思うことがありますか(職種別)

上段:度数 下段:%	合計	いつも思っている	ときどき思う	思わない	不明・無回答
合計	7,942	1,173	4,256	2,308	205
	100.0	14.8	53.6	29.1	2.6
一般事務	1,966	269	978	675	44
	100.0	13.7	49.7	34.3	2.2
外交・営業	132	23	73	35	1
	100.0	17.4	55.3	26.5	0.8
製造	87	11	42	31	3
	100.0	12.6	48.3	35.6	3.4
マスコミ関係	29	2	19	6	2
	100.0	6.9	65.5	20.7	6.9
調理	143	18	77	44	4
	100.0	12.6	53.8	30.8	2.8
清掃	34	1	8	19	6
	100.0	2.9	23.5	55.9	17.6
販売・店員	166	15	93	57	1
	100.0	9.0	56.0	34.3	0.6
教職員	615	65	342	204	4
	100.0	10.6	55.6	33.2	0.7
保育士	327	37	190	92	8
	100.0	11.3	58.1	28.1	2.4
看護師	1,663	350	1,012	265	36
	100.0	21.0	60.9	15.9	2.2
学童保育	85	13	43	23	6
	100.0	15.3	50.6	27.1	7.1
介護・福祉職場	746	114	407	200	25
	100.0	15.3	54.6	26.8	3.4
研究職	11	0	6	5	0
	100.0	0.0	54.5	45.5	0.0
その他専門・技術職	1,004	128	509	350	17
	100.0	12.7	50.7	34.9	1.7
運輸・交通関係	168	24	92	49	3
	100.0	14.3	54.8	29.2	1.8
金融	51	9	27	13	2
	100.0	17.6	52.9	25.5	3.9
建設関係	100	6	51	35	8
	100.0	6.0	51.0	35.0	8.0
通信関係	19	3	6	8	2
	100.0	15.8	31.6	42.1	10.5
その他	475	76	227	161	11
	100.0	16.0	47.8	33.9	2.3
不明・無回答	121	9	54	36	22
	100.0	7.4	44.6	29.8	18.2

問 8 あなたは、仕事をやめたいと思うことがありますか(全体)

上段:度数 下段:%	合計	いつも思っている	ときどき思う	思わない	不明・無回答
合計	7,942	1,173	4,256	2,308	205
	100.0	14.8	53.6	29.1	2.6

問 8-1. あなたは、仕事をやめたいと思うことがありますか？(年齢別)					
15～19 歳	18	2	5	9	2
	100.0	11.1	27.8	50.0	11.1
20～24 歳	602	75	239	270	18
	100.0	12.5	39.7	44.9	3.0
25～29 歳	843	113	480	236	14
	100.0	13.4	56.9	28.0	1.7
30～34 歳	622	98	370	145	9
	100.0	15.8	59.5	23.3	1.4
35～39 歳	698	108	416	162	12
	100.0	15.5	59.6	23.2	1.7
40～44 歳	836	132	481	211	12
	100.0	15.8	57.5	25.2	1.4
45～49 歳	1,065	174	582	294	15
	100.0	16.3	54.6	27.6	1.4
50～54 歳	1,296	219	678	382	17
	100.0	16.9	52.3	29.5	1.3
55～59 歳	990	150	533	270	37
	100.0	15.2	53.8	27.3	3.7
60～64 歳	600	69	317	199	15
	100.0	11.5	52.8	33.2	2.5
65 歳以上	327	26	143	123	35
	100.0	8.0	43.7	37.6	10.7
不明・無回答	45	7	12	7	19
	100.0	15.6	26.7	15.6	42.2

■ 7割の人が「仕事をやめたい」と思うことがある

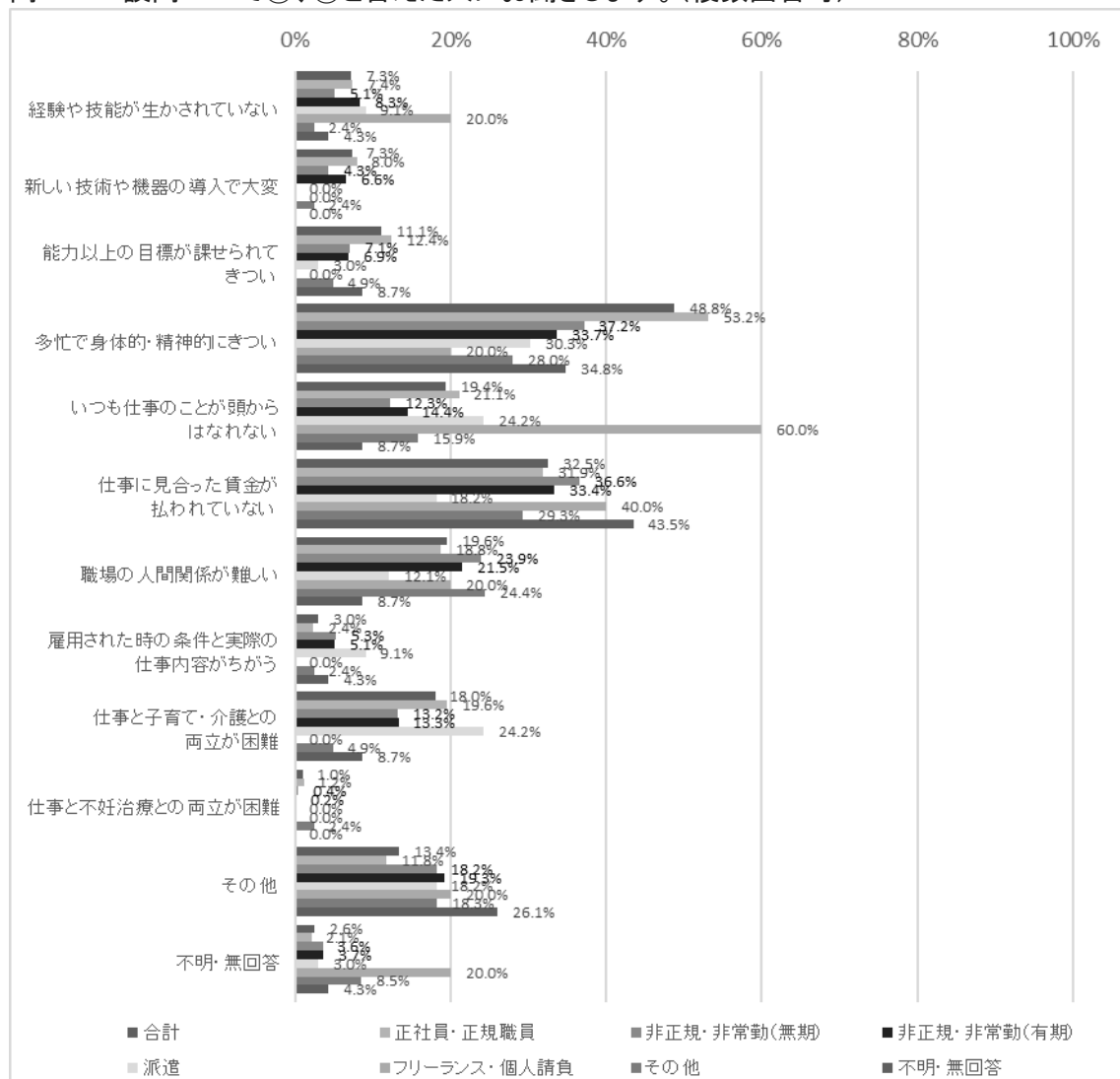
「あなたは、仕事をやめたいと思うことがありますか」との問いに、「いつも思っている」14.8%（前回 11.9%）、「ときどき思っている」53.6%（前回 52.9%）を合わせた割合は 68.4%（前回 64.8%）となっている。

「いつも思っている」と「ときどき思っている」を合わせて職種別で高いのは、「看護師」81.9%（前回 76.6%）、「外交・営業」72.7%（前回 72.1%）、「金融」70.5%（前回 70%）、「介護・福祉職場」69.9%（前回 70.8%）、「保育士」69.4%（前回 70.9%）、「教職員」66.2%（前回 61.3%）、「調理」66.4%（前回 44.7%）「販売・店員」65.0%（前回 70.5%）。

なかでも、「いつも思っている」で高い割合の職種は、「看護師」21.0%（前回 18.7%）、「金融」17.6%（前回 16.7%）、「外交・営業」17.4%（前回 16.4%）となっている。

年齢別では「30～34 歳」75.3%、「35～39 歳」75.1%、「40～44 歳」73.3%が高く、若年層の「15～19 歳」38.9%、「20～24 歳」52.2%であった。

問 8-2. 設問 8-1 で①、②と答えた人にお聞きします。(複数回答可)



上段:度数 下段:%	合計	経験や技能が生かされていない	新しい技術や機器の導入で大変	能力以上の目標が課せられてきつい	多忙で身体的・精神的にきつい	いつも仕事のことが頭からはなれない	仕事に見合った賃金が払われていない	職場の人間関係が難しい	雇用された時の条件と実際の仕事内容がちがう	仕事と子育て・介護との両立が困難	仕事と不妊治療との両立が困難	その他	不明・無回答
合計	5,429	394	397	602	2,650	1,055	1,763	1,062	165	978	54	729	140
	100.0	7.3	7.3	11.1	48.8	19.4	32.5	19.6	3.0	18.0	1.0	13.4	2.6
正社員・正規職員	4,157	309	332	516	2,210	877	1,328	780	100	814	49	489	89
	100.0	7.4	8.0	12.4	53.2	21.1	31.9	18.8	2.4	19.6	1.2	11.8	2.1
非正規・非常勤(無期)	506	26	22	36	188	62	185	121	27	67	2	92	18
	100.0	5.1	4.3	7.1	37.2	12.3	36.6	23.9	5.3	13.2	0.4	18.2	3.6
非正規・非常勤(有期)	623	52	41	43	210	90	208	134	32	83	1	120	23
	100.0	8.3	6.6	6.9	33.7	14.4	33.4	21.5	5.1	13.3	0.2	19.3	3.7
派遣	33	3	0	1	10	8	6	4	3	8	0	6	1
	100.0	9.1	0.0	3.0	30.3	24.2	18.2	12.1	9.1	24.2	0.0	18.2	3.0
フリーランス・個人請負	5	1	0	0	1	3	2	1	0	0	0	1	1
	100.0	20.0	0.0	0.0	20.0	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
その他	82	2	2	4	23	13	24	20	2	4	2	15	7
	100.0	2.4	2.4	4.9	28.0	15.9	29.3	24.4	2.4	4.9	2.4	18.3	8.5
不明・無回答	23	1	0	2	8	2	10	2	1	2	0	6	1
	100.0	4.3	0.0	8.7	34.8	8.7	43.5	8.7	4.3	8.7	0.0	26.1	4.3

上段:度数 下段:%	合計	経験や技能が生かされていない	新しい技術や機器の導入で大変	能力以上の目標が課せられてきつい	多忙で身体的・精神的にきつい	いつも仕事のことが頭からはなれない	仕事に見合った賃金が払われていない	職場の人間関係が難しい	雇用された時の条件と実際の仕事内容がちがう	仕事と子育て・介護との両立が困難	仕事と不妊治療との両立が困難	その他
合計	5,429	394	397	602	2,650	1,055	1,763	1,062	165	978	54	729
	100.0	7.3	7.3	11.1	48.8	19.4	32.5	19.6	3.0	18.0	1.0	13.4
一般事務	1,247	115	123	169	485	242	289	239	34	224	11	208
	100.0	9.2	9.9	13.6	38.9	19.4	23.2	19.2	2.7	18.0	0.9	16.7
外交・営業	96	17	2	19	33	18	21	12	5	19	2	17
	100.0	17.7	2.1	19.8	34.4	18.8	21.9	12.5	5.2	19.8	2.1	17.7
製造	53	3	5	6	15	8	16	16	3	5	1	11
	100.0	5.7	9.4	11.3	28.3	15.1	30.2	30.2	5.7	9.4	1.9	20.8
マスコミ関係	21	1	0	2	8	3	4	5	1	5	0	3
	100.0	4.8	0.0	9.5	38.1	14.3	19.0	23.8	4.8	23.8	0.0	14.3
調理	95	7	1	6	40	19	32	26	7	8	0	12
	100.0	7.4	1.1	6.3	42.1	20.0	33.7	27.4	7.4	8.4	0.0	12.6
清掃	9	0	0	0	2	1	2	4	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0	22.2
販売・店員	108	8	2	13	42	19	28	27	8	18	2	17
	100.0	7.4	1.9	12.0	38.9	17.6	25.9	25.0	7.4	16.7	1.9	15.7
教職員	407	19	70	38	286	115	110	61	7	93	7	34
	100.0	4.7	17.2	9.3	70.3	28.3	27.0	15.0	1.7	22.9	1.7	8.4
保育士	227	5	10	13	141	72	103	43	4	53	3	27
	100.0	2.2	4.4	5.7	62.1	31.7	45.4	18.9	1.8	23.3	1.3	11.9
看護師	1,362	88	91	139	798	238	583	247	33	259	13	135
	100.0	6.5	6.7	10.2	58.6	17.5	42.8	18.1	2.4	19.0	1.0	9.9
学童保育	56	4	2	3	28	16	16	14	0	12	0	5
	100.0	7.1	3.6	5.4	50.0	28.6	28.6	25.0	0.0	21.4	0.0	8.9
介護・福祉職場	521	32	8	47	256	109	200	94	16	74	4	62
	100.0	6.1	1.5	9.0	49.1	20.9	38.4	18.0	3.1	14.2	0.8	11.9
研究職	6	0	0	1	5	1	1	3	0	1	0	1
	100.0	0.0	0.0	16.7	83.3	16.7	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0	16.7
その他専門・技術職	637	50	52	72	279	103	221	146	15	132	8	85
	100.0	7.8	8.2	11.3	43.8	16.2	34.7	22.9	2.4	20.7	1.3	13.3
運輸・交通関係	116	11	2	8	50	9	28	22	7	23	0	22
	100.0	9.5	1.7	6.9	43.1	7.8	24.1	19.0	6.0	19.8	0.0	19.0
金融	36	4	3	8	8	6	9	10	3	8	1	6
	100.0	11.1	8.3	22.2	22.2	16.7	25.0	27.8	8.3	22.2	2.8	16.7
建設関係	57	9	4	8	22	10	6	6	0	7	0	11
	100.0	15.8	7.0	14.0	38.6	17.5	10.5	10.5	0.0	12.3	0.0	19.3
通信関係	9	0	2	4	6	4	2	2	1	2	0	0
	100.0	0.0	22.2	44.4	66.7	44.4	22.2	22.2	11.1	22.2	0.0	0.0
その他	303	20	18	38	118	57	74	72	17	29	2	62
	100.0	6.6	5.9	12.5	38.9	18.8	24.4	23.8	5.6	9.6	0.7	20.5

■「やめたい理由」は正規も、非正規も「多忙で身体的・精神的にきつい」がトップ

「仕事をやめたい」理由は、正規では「多忙で身体的・精神的にきつい」53.2%（前回50.5%）が飛びぬけて多い。長時間過密労働に苦しめられ、慢性的に疲労をかかえている姿が浮かび上がってくる。二番目は「仕事に見合った賃金が支払われていない」31.9%（前回19.6%）、続いて「職場の人間関係が難しい」18.8%（前回21.8%）、「仕事と子育て介護の両立が困難」19.6%（前回19.2%）となっている。

雇用形態別では、「多忙で身体的・精神的にきつい」正規53.2%（前回50.5%）、非正規では、「多忙で身体的・精神的にきつい」が前回31.0%で今回は非正規（無期）で37.2%、非正規（有期）33.7%、派遣30.3%となっている。フリーランスでは「いつも仕事のことが頭から離れない」60.0%、「仕事に見合った賃金が支払われていない」40.0%。

職種別で「多忙で身体的・精神的にきつい」の回答割合が高い職が「研究職」83.3%（前回11.1%）、「教職員」70.3%（前回64.9%）、「通信関係」66.7%（前回18.2%）、「保育士」62.1%（前回60.7%）、「看護師」58.6%（前回56.4%）となっている。「仕事に見合った賃金が支払われていない」は全体32.3%（前回19.6%）であるが、「保育士」45.4%（前回35.7%）「看護師」42.8%（前回22.7%）、「介護・福祉職場」38.4%（前回18.8%）、となっている。

＜雇用に関する不安や要求＞

【問9-1】あなたは雇止め不安を感じますか？

・雇止めの不安を感じている人は「強く感じる」「ときどき感じる」合わせて22.9%だった。前回14.4%から8ポイント高い。

・正規雇用の中で不安を感じている人は合わせて15.7%、非正規は34.9%（無期）、51.5%（有期）。無期・有期雇用を合わせると44%の人が雇用に不安を抱えている。

・前回調査では正規で不安を感じている人は10.7%で、5ポイント増えている。一方で非正規は前回48.2%と比べて4%減っている。

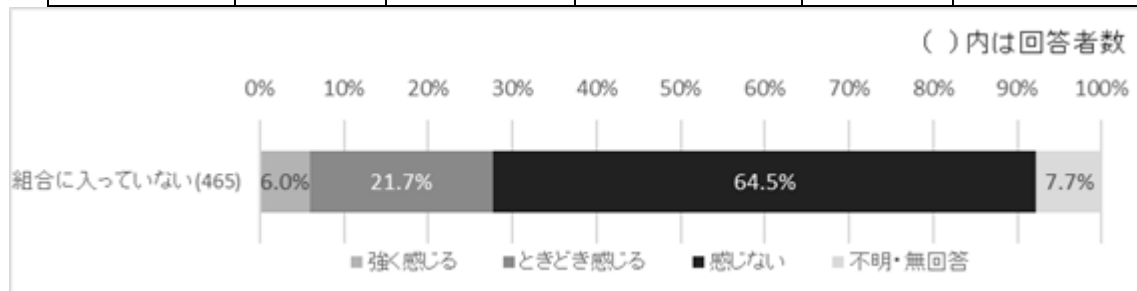
・職種別で見ると「強く感じる」「ときどき感じる」と回答した合計が25%以上だったのは、調理、販売・店員、看護師、学童保育、介護・福祉職場だった。

・組合に入っていない人の不安を感じる回答は27.7%、組合に入っている人は22.6%（1687/7458）

上段：度数 下段：%		あなたは雇止め不安を感じますか？				
		合計	強く感じる	ときどき感じる	感じない	不明・無回答
あなたの雇用形態は次のいずれですか	合計	7,942	404	1,416	5,611	512
		100.0	5.1	17.8	70.6	6.4
	正社員・正規職員	5,782	139	770	4,500	374
		100.0	2.4	13.3	77.8	6.5
	非正規・非常勤(無期)	837	45	247	510	35
		100.0	5.4	29.5	60.9	4.2
	非正規・非常勤(有期)	1,025	197	331	445	52
		100.0	19.2	32.3	43.4	5.1
	非正規・非常勤(無期+有期)	1,862	242	578	955	87
		100.0	13.0	31.0	51.3	4.7
派遣	72	8	26	33	5	
	100.0	11.1	36.1	45.8	6.9	
フリーランス・個人請負	16	2	0	9	5	
	100.0	12.5	0.0	56.3	31.3	
その他	154	11	30	91	22	
	100.0	7.1	19.5	59.1	14.3	
不明・無回答	56	2	12	23	19	
	100.0	3.6	21.4	41.1	33.9	

上段：度数 下段：%	あなたは雇止め不安を感じますか？				
	合計	強く感じる	ときどき感じる	感じない	不明・無回答
合計	7,942	404	1,416	5,611	512
	100.0	5.1	17.8	70.6	6.4
一般事務	1,966	113	296	1,430	127
	100.0	5.7	15.1	72.7	6.5
外交・営業	132	2	20	104	6
	100.0	1.5	15.2	78.8	4.5
製造	87	0	14	68	5
	100.0	0.0	16.1	78.2	5.7
マスコミ関係	29	2	3	21	3
	100.0	6.9	10.3	72.4	10.3
調理	143	8	35	93	7
	100.0	5.6	24.5	65.0	4.9

清掃	34	0	4	22	8
	100.0	0.0	11.8	64.7	23.5
販売・店員	166	4	42	118	2
	100.0	2.4	25.3	71.1	1.2
教職員	615	20	51	522	22
	100.0	3.3	8.3	84.9	3.6
保育士	327	14	51	235	27
	100.0	4.3	15.6	71.9	8.3
看護師	1,663	75	374	1,110	105
	100.0	4.5	22.5	66.7	6.3
学童保育	85	3	21	54	7
	100.0	3.5	24.7	63.5	8.2
介護・福祉職 場	746	28	165	488	65
	100.0	3.8	22.1	65.4	8.7
研究職	11	0	1	9	1
	100.0	0.0	9.1	81.8	9.1
その他専 門・技術職	1,004	65	161	728	50
	100.0	6.5	16.0	72.5	5.0
運輸・交通関 係	168	7	30	118	13
	100.0	4.2	17.9	70.2	7.7
金融	51	3	6	38	4
	100.0	5.9	11.8	74.5	7.8
建設関係	100	0	6	88	6
	100.0	0.0	6.0	88.0	6.0
通信関係	19	0	1	15	3
	100.0	0.0	5.3	78.9	15.8
その他	475	55	115	282	23
	100.0	11.6	24.2	59.4	4.8
不明・無回答	121	5	20	68	28
	100.0	4.1	16.5	56.2	23.1



【問 10】あなたの疲れ度合いと回復についてお答えください。

・全体で、「疲れが翌日まで残る」「いつも疲れている」と回答した人は 58.9%。正規では 62.4%、非正規では 49.8%。

・年齢別にみると、30 代後半から 50 代にかけて、翌日に疲れを残している、いつも疲れている人が増えている。

		あなたの疲れの度合いと回復についてお答えください。					
上段：度数	下段：%	合計	特に疲れは感じない	疲れを感じるが、次の日までには回復している	疲れが翌日に残ることが多い	いつも疲れている	不明・無回答
あなたの雇用形態は次のいずれですか	合計	7,942	376	2,748	2,804	1,876	147
		100.0	4.7	34.6	35.3	23.6	1.9
	正社員・正規職員	5,782	210	1,880	2,124	1,488	83
		100.0	3.6	32.5	36.7	25.7	1.4
	非正規・非常勤(無期)	837	64	329	267	163	18
		100.0	7.6	39.3	31.9	19.5	2.2
	非正規・非常勤(有期)	1,025	73	439	326	172	16
		100.0	7.1	42.8	31.8	16.8	1.6
	派遣	72	4	35	20	12	1
		100.0	5.6	48.6	27.8	16.7	1.4
フリーランス・個人請負	16	3	4	4	1	4	
	100.0	18.8	25.0	25.0	6.3	25.0	
その他	154	18	48	42	35	12	
	100.0	11.7	31.2	27.3	22.7	7.8	
不明・無回答	56	4	13	21	5	13	
	100.0	7.1	23.2	37.5	8.9	23.2	
		あなたの疲れの度合いと回復についてお答えください。					
上段：度数	下段：%	合計	特に疲れは感じない	疲れを感じるが、次の日までには回復している	疲れが翌日に残ることが多い	いつも疲れている	不明・無回答
あなたの年齢は？	合計	7,942	376	2,748	2,804	1,876	147
		100.0	4.7	34.6	35.3	23.6	1.9
	15～19 歳	18	2	9	5	2	1
		100.0	11.1	50.0	27.8	11.1	5.6
	20～24 歳	602	29	267	204	92	10
		100.0	4.8	44.4	33.9	15.3	1.7
	25～29 歳	843	53	322	305	152	11
		100.0	6.3	38.2	36.2	18.0	1.3
	30～34 歳	622	21	222	231	143	5
		100.0	3.4	35.7	37.1	23.0	0.8
	35～39 歳	698	19	205	280	188	7
		100.0	2.7	29.4	40.1	26.9	1.0
	40～44 歳	836	32	271	298	225	12
		100.0	3.8	32.4	35.6	26.9	1.4
	45～49 歳	1,065	34	339	382	303	9
		100.0	3.2	31.8	35.9	28.5	0.8
	50～54 歳	1,296	51	407	461	360	20
	100.0	3.9	31.4	35.6	27.8	1.5	
55～59 歳	990	52	322	340	255	21	
	100.0	5.3	32.5	34.3	25.8	2.1	
60～64 歳	600	38	237	203	114	8	
	100.0	6.3	39.5	33.8	19.0	1.3	
65 歳以上	327	45	138	86	31	27	
	100.0	13.8	42.2	26.3	9.5	8.3	
不明・無回答	45	0	9	9	11	16	
	100.0	0.0	20.0	20.0	24.4	35.6	

【問11】あなたの今の健康状態はどうか？

- ・「健康にやや不安」46.8%（前回44.1%）、「大変不安」6.5%（同4.9%）、「病気加療中」6.3%（同5.8%）がいずれも昨前回より、若干上回っている。
- ・「健康である」が平均38.6%より目立って少ない職種は、研究職27.3%、介護・福祉職場31.9%、看護師32.1%、教職員33.3%、販売・店員33.7%だった。

	上段：度数	あなたの今の健康状態はどうか？					
	下段：%	合計	健康である	健康にやや不安がある	健康に大変不安がある	病気加療中	不明・無回答
あなたの雇用形態は次のいずれですか	合計	7,942	3,069	3,718	514	498	150
		100.0	38.6	46.8	6.5	6.3	1.9
	正社員・正規職員	5,782	2,235	2,711	407	341	90
		100.0	38.7	46.9	7.0	5.9	1.6
	非正規・非常勤(無期)	837	308	408	44	63	17
		100.0	36.8	48.7	5.3	7.5	2.0
	非正規・非常勤(有期)	1,025	412	475	46	77	17
		100.0	40.2	46.3	4.5	7.5	1.7
	派遣	72	37	29	3	2	1
		100.0	51.4	40.3	4.2	2.8	1.4
	フリーランス・個人請負	16	7	6	1	0	2
		100.0	43.8	37.5	6.3	0.0	12.5
	その他	154	51	68	11	14	10
		100.0	33.1	44.2	7.1	9.1	6.5
	不明・無回答	56	19	21	2	1	13
		100.0	33.9	37.5	3.6	1.8	23.2

【問12】あなたは最近、次のような症状がありますか？

- ・何らかの身体症状がある人の割合は前回とほぼ同様。
- ・首筋や肩がこる、身体がだるい、目が疲れる症状を訴える人が突出して多い。
- ・看護師に他の職種よりもポイントが高い身体症状（身体がだるい、頭痛、腰がだるい・重い・痛い、胃の調子が悪い、眠れない）が多い。
- ・マスコミ関係、通信関係、金融、研究職などで、いつも眠い、朝起きた時気分がすぐれないといった症状が多い。

	上段：度数	あなたは最近、次のような症状がありますか？（複数回答可）																
	下段：%	合計	身体がだるい	頭がぼんやりしたりきえない	いつもねむい	朝起きた時気分がすぐれない	頭痛がしたり頭が重い	首筋や肩がこる	腕や手足・膝・関節の痛みやしびれ	腰がだるい、重い、痛い	胃の調子が悪い	目が疲れる、目がしょぼしょぼする	声がのどれる	発汗・のぼせ	眠れない	その他	ない	不明・無回答
あなたの雇用形態は次のいずれですか	合計	7,942	3,376	1,033	2,084	1,518	2,006	4,363	1,152	2,303	960	3,302	364	551	929	171	576	140
		100.0	42.5	13.0	26.2	19.1	25.3	54.9	14.5	29.0	12.1	41.6	4.6	6.9	11.7	2.2	7.3	1.8
	正社員・正規職員	5,782	2,661	860	1,695	1,249	1,572	3,226	757	1,658	747	2,427	275	391	714	120	409	72
		100.0	46.0	14.9	29.3	21.6	27.2	55.8	13.1	28.7	12.9	42.0	4.8	6.8	12.3	2.1	7.1	1.2
	非正規・非常勤(無期)	837	292	67	164	100	178	435	158	262	83	331	32	74	85	21	62	17
		100.0	34.9	8.0	19.6	11.9	21.3	52.0	18.9	31.3	9.9	39.5	3.8	8.8	10.2	2.5	7.4	2.0
	非正規・非常勤(有期)	1,025	337	87	166	135	209	554	179	302	104	427	47	70	98	21	79	21
		100.0	32.9	8.5	16.2	13.2	20.4	54.0	17.5	29.5	10.1	41.7	4.6	6.8	9.6	2.0	7.7	2.0
	派遣	72	25	4	16	12	16	44	11	16	5	33	1	5	9	3	6	2
		100.0	34.7	5.6	22.2	16.7	22.2	61.1	15.3	22.2	6.9	45.8	1.4	6.9	12.5	4.2	8.3	2.8
	フリーランス・個人請負	16	4	2	3	1	2	7	2	3	2	7	2	1	1	0	2	2
		100.0	25.0	12.5	18.8	6.3	12.5	43.8	12.5	18.8	12.5	43.8	12.5	6.3	6.3	0.0	12.5	12.5
	その他	154	39	9	31	14	20	71	36	48	14	65	6	9	18	4	13	12
		100.0	25.3	5.8	20.1	9.1	13.0	46.1	23.4	31.2	9.1	42.2	3.9	5.8	11.7	2.6	8.4	7.8
	不明・無回答	56	18	4	9	7	9	26	9	14	5	12	1	1	4	2	5	14
		100.0	32.1	7.1	16.1	12.5	16.1	46.4	16.1	25.0	8.9	21.4	1.8	1.8	7.1	3.6	8.9	25.0

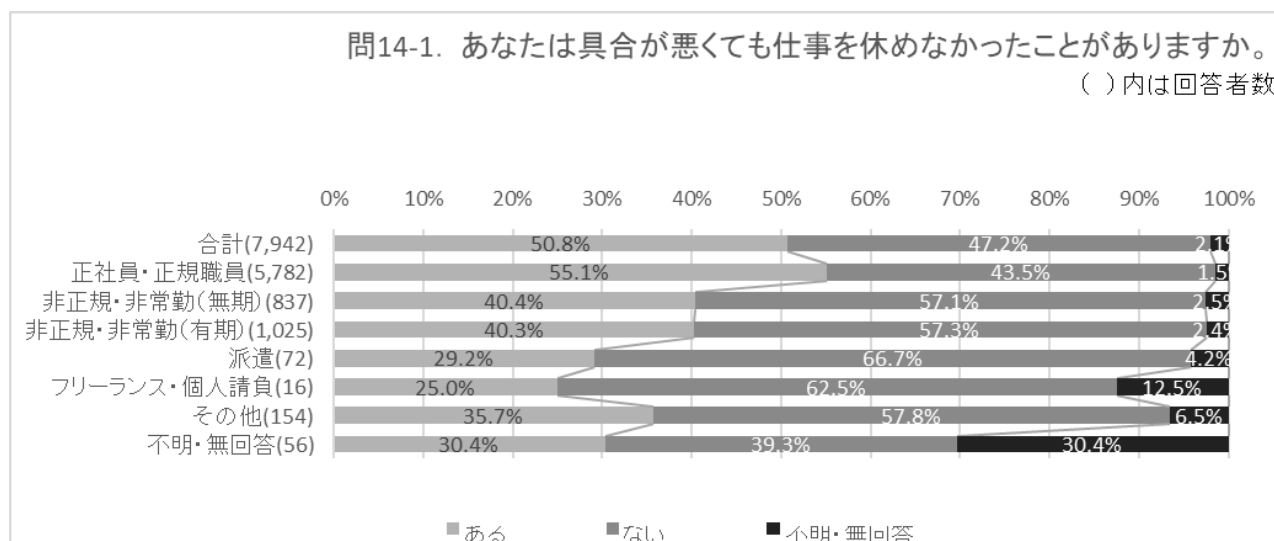
【問 13】最近以下のようなことがありますか？複数回答

- ・「心配事がある」30.2%（前回 28.6%）、「なんとなくイライラしちよつとしたことがカンにさわる」19.6%（前回 20.7%）、「ない」21.4%（同 20.0%）は今回も同じような傾向。
- ・精神的な面は、正規の方がポイントが高い傾向。
- ・年齢別では、「ない」という回答は年齢が低い層と高い層で増える傾向。ささいなことが気になるのは10代に多いが母数は少ない。

上段:度数		最近以下のようなことがありますか？(複数回答可)												
下段:%	合計	心配ごとがある	自分が他人より劣っていると思えてしかたがない	根気が続かない	なんとなくイライラし、ちよつとしたことがカンにさわる	ささいなことが気になる	なにかでパーッとさばらしをしたい	自分の好きなことでもやる気がしない	家に帰っても仕事のことがかかって困る	ゆううつな気分がする	出勤したくない	ない	不明・無回答	
あなたの雇用形態は次のいずれですか	合計	7,942	2,396	1,382	986	1,556	1,379	1,252	874	1,184	1,301	1,049	1,696	360
		100.0	30.2	17.4	12.4	19.6	17.4	15.8	11.0	14.9	16.4	13.2	21.4	4.5
	正社員・正規職員	5,782	1,765	1,118	786	1,216	1,005	955	686	989	1,052	881	1,142	218
		100.0	30.5	19.3	13.6	21.0	17.4	16.5	11.9	17.1	18.2	15.2	19.8	3.8
	非正規・非常勤(無期)	837	255	95	68	145	142	130	72	71	104	72	218	43
		100.0	30.5	11.4	8.1	17.3	17.0	15.5	8.6	8.5	12.4	8.6	26.0	5.1
	非正規・非常勤(有期)	1,025	301	134	103	143	180	133	91	103	115	72	260	56
		100.0	29.4	13.1	10.0	14.0	17.6	13.0	8.9	10.0	11.2	7.0	25.4	5.5
	派遣	72	16	9	8	10	14	10	9	4	3	5	21	3
		100.0	22.2	12.5	11.1	13.9	19.4	13.9	12.5	5.6	4.2	6.9	29.2	4.2
フリーランス・個人請負	16	4	3	1	1	1	2	1	2	1	1	4	5	
	100.0	25.0	18.8	6.3	6.3	6.3	12.5	6.3	12.5	6.3	6.3	25.0	31.3	
その他	154	41	17	15	30	28	16	12	13	18	11	38	18	
	100.0	26.6	11.0	9.7	19.5	18.2	10.4	7.8	8.4	11.7	7.1	24.7	11.7	
不明・無回答	56	14	6	5	11	9	6	3	2	8	7	13	17	
	100.0	25.0	10.7	8.9	19.6	16.1	10.7	5.4	3.6	14.3	12.5	23.2	30.4	

【問 14-1】あなたは具合が悪くて休めなかったことはありますか

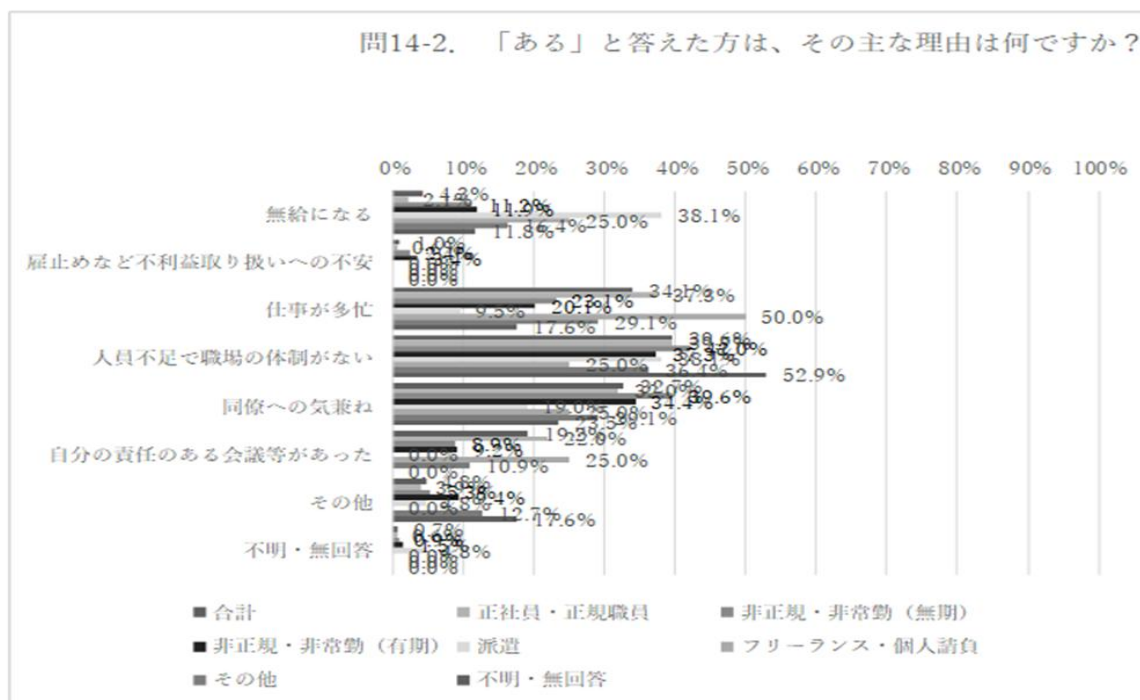
- ・回答者の約半数が休めなかったことがあると回答。正規の方が15ポイント多い。
- ・職種別では教職員と研究職が全体平均より20ポイント以上多い。



【問 14-2】あると答えた方はその理由は何ですか？

- ・3大理由は「人員不足」「仕事が多忙」「同僚への気兼ね」。
- ・「仕事が多忙」と答えた人が平均より10ポイント多かったのは、一般事務、マスコミ関係、居職員、研究職だった。
- ・「人員不足で職場の体制がない」が平均より10%多い職種は、調理、販売・店員、保育士、看護師、学童保育だったが、全体的に高い傾向。
- ・「同僚への気兼ね」を理由にした回答も職種によって差が大きい。
- ・非正規、派遣、フリーランスは「無給になるから」。

	上段:度数 下段:%	「ある」と答えた方は、その主な理由は何ですか？								
		合計	無給になる	雇止めなど 不利益取り 扱いへの不安	仕事が多 忙	人員不足 で職場の体 制がない	同僚への 気兼ね	自分の責 任のある会 議等があっ た	その他	不明・無回 答
あ な た の 雇 用 形 態 は 次 の い ず れ で す か	合計	4,032	174	40	1,373	1,597	1,319	774	192	29
		100.0	4.3	1.0	34.1	39.6	32.7	19.2	4.8	0.7
	正社員・正規職員	3,184	67	18	1,189	1,263	1,018	699	124	19
		100.0	2.1	0.6	37.3	39.7	32.0	22.0	3.9	0.6
	非正規・非常勤(無期)	338	38	8	78	142	134	30	18	3
		100.0	11.2	2.4	23.1	42.0	39.6	8.9	5.3	0.9
	非正規・非常勤(有期)	413	49	14	83	154	142	38	39	6
		100.0	11.9	3.4	20.1	37.3	34.4	9.2	9.4	1.5
	派遣	21	8	0	2	8	4	0	1	1
		100.0	38.1	0.0	9.5	38.1	19.0	0.0	4.8	4.8
フリーランス・個人請負	4	1	0	2	1	1	1	0	0	
	100.0	25.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	
その他	55	9	0	16	20	16	6	7	0	
	100.0	16.4	0.0	29.1	36.4	29.1	10.9	12.7	0.0	
不明・無回答	17	2	0	3	9	4	0	3	0	
	100.0	11.8	0.0	17.6	52.9	23.5	0.0	17.6	0.0	



【問 15】1日の睡眠時間は、平均してどの程度ですか

- ・1日の平均睡眠時間は6時間の人が多い。
- ・全体では6時間以下の人が64%、5時間以下が27%で前回(25.2%)より若干増えている。
- ・職種別でみると、製造業や研究職では5時間程度と回答した人が一番多い。

上段:度数		1日の睡眠時間は、平均してどの程度ですか？										
下段:%		合計	4時間程度 または未満	4.5時間程 度	5時間程度	5.5時間程 度	6時間程度	6.5時間程 度	7時間程度	7.5時間程 度	8時間程度 またはそれ 以上	不明・無回 答
あなたの 雇用形 態は次 のい ずれで すか	合計	7,942	239	613	1,291	749	2,191	841	1,307	403	205	110
		100.0	3.0	7.7	16.3	9.4	27.6	10.6	16.5	5.1	2.6	1.4
	正社員・正規職員	5,782	178	423	933	523	1,615	608	999	286	160	62
		100.0	3.1	7.3	16.1	9.0	27.9	10.5	17.3	4.9	2.8	1.1
	非正規・非常勤(無期)	837	27	80	141	89	244	68	115	51	15	8
		100.0	3.2	9.6	16.8	10.6	29.2	8.1	13.7	6.1	1.8	1.0
	非正規・非常勤(有期)	1,025	26	85	172	112	267	130	151	51	16	15
		100.0	2.5	8.3	16.8	10.9	26.0	12.7	14.7	5.0	1.6	1.5
	派遣	72	2	4	13	8	16	6	15	3	4	1
		100.0	2.8	5.6	18.1	11.1	22.2	8.3	20.8	4.2	5.6	1.4
	フリーランス・個人請負	16	1	0	2	2	3	1	1	2	2	2
		100.0	6.3	0.0	12.5	12.5	18.8	6.3	6.3	12.5	12.5	12.5
	その他	154	5	16	24	11	39	21	20	9	3	7
	100.0	3.2	10.4	15.6	7.1	25.3	13.6	13.0	5.8	1.9	4.5	
不明・無回答	56	0	5	6	4	7	7	6	1	5	15	
	100.0	0.0	8.9	10.7	7.1	12.5	12.5	10.7	1.8	8.9	26.8	

上段:度数		1日の睡眠時間は、平均してどの程度ですか？										
下段:%		合計	4時間程度 または未満	4.5時間程 度	5時間程度	5.5時間程 度	6時間程度	6.5時間程 度	7時間程度	7.5時間程 度	8時間程度 またはそれ 以上	不明・無回 答
あなたの仕事は次のうちいずれになりますか？※区別がつきにくい場合もおおよそ近いものを選んでください。	合計	7,942	239	613	1,291	749	2,191	841	1,307	403	205	110
		100.0	3.0	7.7	16.3	9.4	27.6	10.6	16.5	5.1	2.6	1.4
	一般事務	1,966	61	136	311	197	565	230	323	89	37	18
		100.0	3.1	6.9	15.8	10.0	28.7	11.7	16.4	4.5	1.9	0.9
	外交・営業	132	1	8	24	15	36	12	23	9	3	1
		100.0	0.8	6.1	18.2	11.4	27.3	9.1	17.4	6.8	2.3	0.8
	製造	87	2	6	17	11	15	9	16	5	5	1
		100.0	2.3	6.9	19.5	12.6	17.2	10.3	18.4	5.7	5.7	1.1
	マスコミ関係	29	1	2	3	3	7	5	6	0	1	1
		100.0	3.4	6.9	10.3	10.3	24.1	17.2	20.7	0.0	3.4	3.4
	調理	143	4	17	26	14	36	13	20	6	6	1
		100.0	2.8	11.9	18.2	9.8	25.2	9.1	14.0	4.2	4.2	0.7
	清掃	34	0	3	3	2	6	4	9	2	4	1
		100.0	0.0	8.8	8.8	5.9	17.6	11.8	26.5	5.9	11.8	2.9
	販売・店員	166	8	22	35	14	44	15	21	6	1	0
		100.0	4.8	13.3	21.1	8.4	26.5	9.0	12.7	3.6	0.6	0.0
	教職員	615	18	39	102	66	175	59	108	24	13	12
		100.0	2.9	6.3	16.6	10.7	28.5	9.6	17.6	3.9	2.1	2.0
	保育士	327	5	29	41	26	82	45	60	21	12	6
		100.0	1.5	8.9	12.5	8.0	25.1	13.8	18.3	6.4	3.7	1.8
看護師	1,663	52	153	303	139	463	157	260	75	44	20	
	100.0	3.1	9.2	18.2	8.4	27.8	9.4	15.6	4.5	2.6	1.2	
学童保育	85	1	3	21	4	26	11	13	3	0	3	
	100.0	1.2	3.5	24.7	4.7	30.6	12.9	15.3	3.5	0.0	3.5	
介護・福祉職場	746	18	58	128	68	212	74	103	55	18	13	
	100.0	2.4	7.8	17.2	9.1	28.4	9.9	13.8	7.4	2.4	1.7	
研究職	11	1	0	4	1	2	0	2	0	0	1	
	100.0	9.1	0.0	36.4	9.1	18.2	0.0	18.2	0.0	0.0	9.1	
その他専門・技術職	1,004	30	71	139	111	270	115	189	50	27	3	
	100.0	3.0	7.1	13.8	11.1	26.9	11.5	18.8	5.0	2.7	0.3	
運輸・交通関係	168	4	13	26	14	43	18	34	8	8	0	
	100.0	2.4	7.7	15.5	8.3	25.6	10.7	20.2	4.8	4.8	0.0	
金融	51	3	2	6	5	17	5	7	3	2	1	
	100.0	5.9	3.9	11.8	9.8	33.3	9.8	13.7	5.9	3.9	2.0	
建設関係	100	3	3	14	10	26	8	25	6	2	3	
	100.0	3.0	3.0	14.0	10.0	26.0	8.0	25.0	6.0	2.0	3.0	
通信関係	19	1	2	1	0	6	2	2	3	1	1	
	100.0	5.3	10.5	5.3	0.0	31.6	10.5	10.5	15.8	5.3	5.3	
その他	475	24	34	70	42	125	47	74	33	19	7	
	100.0	5.1	7.2	14.7	8.8	26.3	9.9	15.6	6.9	4.0	1.5	
不明・無回答	121	2	12	17	7	35	12	12	5	2	17	
	100.0	1.7	9.9	14.0	5.8	28.9	9.9	9.9	4.1	1.7	14.0	

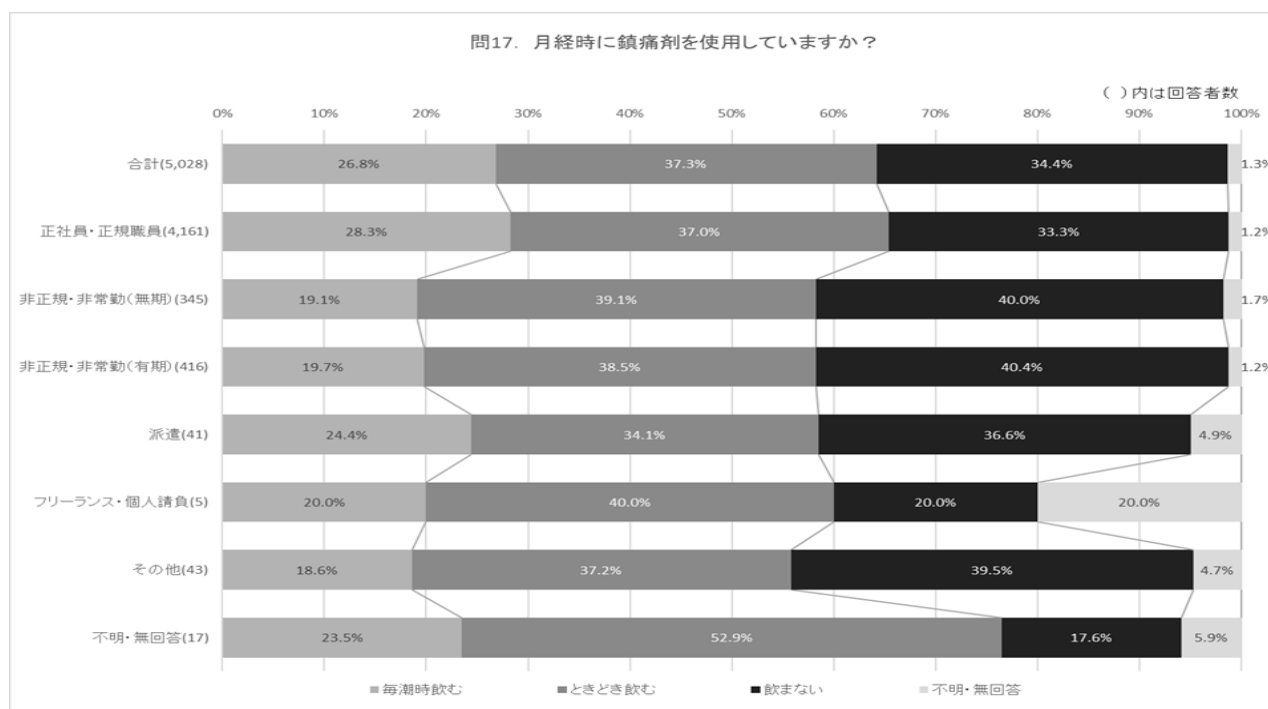
<月経について>

- ・「順調である」29.9%で、前回 47.9%より大幅に減っている。昨年より 50 歳以上の回答者が 10 ポイント多いことも影響か。
- ・約半数が何らかの月経不順であり、鎮痛剤を服用している人が過半数。
- ・生理休暇を「とっていない」が85.7%（前回 83.9%）でほとんど取得できない。非正規では正規より 10 ポイントほど「とっていない」が多い。

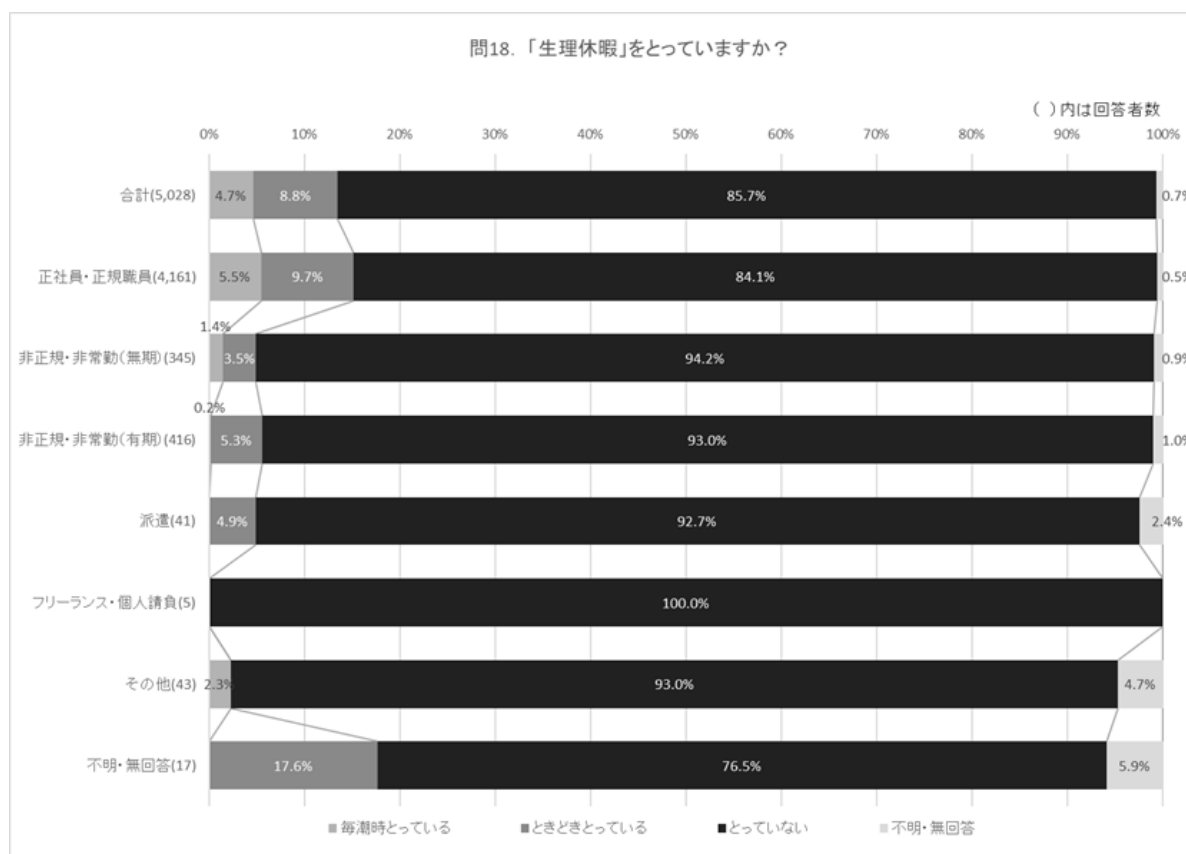
【問 16】あなたの月経周期はどうですか？

下段：%	合計 （「閉経して いる」除く）	順調である	時々不順	不順である	月経異常 （月経過多）	月経異常 （無月経）	不明・無回 答
合計	5,500	2,372	1,594	896	166	99	386
	100.0	43.1%	29.0%	16.3%	3.0%	1.8%	7.0%
正社員・ 正規職員	4,429	1,973	1,349	708	131	75	204
	100.0	44.5%	30.5%	16.0%	3.0%	1.7%	4.6%
非正規・ 非常勤 （無期）	411	170	98	70	7	8	58
	100.0	41.4%	23.8%	17.0%	1.7%	1.9%	14.1%
非正規・ 非常勤 （有期）	494	181	125	88	22	10	70
	100.0	36.6%	25.3%	17.8%	4.5%	2.0%	14.2%
派遣	49	24	7	8	2	3	5
	100.0	49.0%	14.3%	16.3%	4.1%	6.1%	10.2%
フリーラン ス・個人請 負	10	1	2	2	0	1	4
	100.0	10.0%	20.0%	20.0%	0.0%	10.0%	40.0%
その他	71	13	9	17	4	2	26
	100.0	18.3%	12.7%	23.9%	5.6%	2.8%	36.6%
不明・無 回答	36	10	4	3	0	0	19
	100.0	27.8%	11.1%	8.3%	0.0%	0.0%	52.8%

【問 17. 月経時に鎮痛剤を使いますか？】



【問 18】「生理休暇」をとっていますか？



【問 19】問 18 で②③を選んだ方のみお答えください。「生理休暇」が取れない理由は何ですか？

(3つ選択)

- ・2大理由は、「苦痛でないので必要ない」32.2%と、「人員の不足や仕事の多忙で職場の雰囲気として取りにくい」31.4%。「職場の雰囲気」を理由にした人は前回28.7%より増えている。
- ・「無給のために取らない」が7.4%で前回3.9%より増えている。(非正規は「無給」理由が多い。
- ・「申請手続きが面倒」も8.4%で前回6.5%より増えている。

問19. 問18で②③を選んだ方のみお答えください。「生理休暇」が取れない理由は何ですか？(あてはまる項目を3つ以内でお答えください)

上段:度数	問18で②③を選んだ方のみお答えください。「生理休暇」が取れない理由は何ですか？(あてはまる項目を3つ以内でお答えください)													
	下段:%	合計	就業規則がない	無給のためとらない	制度があることを知らなかった	請求申請の手続きが面倒	人員の不足や仕事の多忙で職場の雰囲気としてとりにくい	上司のいやがらせがある	休むと評価が下がるような気がする	はずかしい、生理であることを知られたくない	苦痛でないので必要ない	生休はとるべきでないと思うから	その他	不明・無回答
あなたの雇用形態は次のいずれですか	合計	4,750	217	351	308	391	1,493	11	201	832	1,530	87	454	342
		100.0	4.6	7.4	6.5	8.2	31.4	0.2	4.2	17.5	32.2	1.8	9.6	7.2
	正社員・正規職員	3,903	124	217	220	343	1,338	10	166	731	1,246	66	380	277
		100.0	3.2	5.6	5.6	8.8	34.3	0.3	4.3	18.7	31.9	1.7	9.7	7.1
	非正規・非常勤(無期)	337	42	50	42	17	67	1	8	39	120	8	22	27
		100.0	12.5	14.8	12.5	5.0	19.9	0.3	2.4	11.6	35.6	2.4	6.5	8.0
	非正規・非常勤(有期)	409	38	66	33	29	81	0	23	55	130	10	34	32
		100.0	9.3	16.1	8.1	7.1	19.8	0.0	5.6	13.4	31.8	2.4	8.3	7.8
	派遣	40	7	9	6	1	1	0	2	3	12	0	5	2
		100.0	17.5	22.5	15.0	2.5	2.5	0.0	5.0	7.5	30.0	0.0	12.5	5.0
フリーランス・個人請負	5	1	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	
	100.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	
その他	40	4	5	3	1	4	0	1	1	15	3	10	1	
	100.0	10.0	12.5	7.5	2.5	10.0	0.0	2.5	2.5	37.5	7.5	25.0	2.5	
不明・無回答	16	1	2	4	0	2	0	1	2	5	0	3	2	
	100.0	6.3	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	6.3	12.5	31.3	0.0	18.8	12.5	

【問 20-1】「不妊治療」を受けていたことがありますか？

・不妊治療について、「受けたことがある」全体で 9.4%、「受けている」0.8%と、約 1 割が治療をおこなっている。また「受ける予定」も 0.6%と、約 1 割が不妊治療にかかわる状況である。「受けたことがある」「受けている」「受ける予定がある」の項目すべての合計は、正規の割合が非正規を上回っている。

上段:度数	「不妊治療」を受けていたことがありますか					
下段:%	合計	過去に受けたことがある	受けている	受ける予定がある	受けていない	不明・無回答
合計	7,942	743	63	48	6,207	883
	100.0	9.4	0.8	0.6	78.2	11.1
正社員・正規職員	5,782	540	56	47	4,681	460
	100.0	9.3	1.0	0.8	81.0	8.0
非正規・非常勤(無期)	837	83	3	0	598	153
	100.0	9.9	0.4	0.0	71.4	18.3
非正規・非常勤(有期)	1,025	100	3	1	741	180
	100.0	9.8	0.3	0.1	72.3	17.6
派遣	72	4	1	0	59	8
	100.0	5.6	1.4	0.0	81.9	11.1
フリーランス・個人請負	16	1	0	0	12	3
	100.0	6.3	0.0	0.0	75.0	18.8
その他	154	14	0	0	86	54
	100.0	9.1	0.0	0.0	55.8	35.1
不明・無回答	56	1	0	0	30	25
	100.0	1.8	0.0	0.0	53.6	44.6

【問 20-2】不妊治療と仕事の両立に必要と思われることは何ですか。(当てはまる項目を3つ以内でお答えください。)

- ・一番求められているのが「仕事と治療時間の調整」57.5%と「上司の理解および協力」52.9%。
- 次に「治療のための休暇」37.5%と「同僚の理解および協力」36.3%
- ・「国・自治体などの助成金」は非正規により必要とされている。

上段:度数		不妊治療と仕事の両立に必要と思われることは何ですか。(当てはまる項目を3つ以内でお答えください。)													
下段:%		合計	上司の理解 および協力	同僚の理 解及び協 力	不妊治療を しているこ とをまわり に話せる環 境	仕事と治療 時間の調 整	治療のため の休暇	昇給、昇格 が差別され ない(昇給・ 昇格の保証)	労働時間 の柔軟性 (フレックス 制の導入など)	不妊治療 休暇、時間 等の制度の 整備	国・自治体 などの助成 金(年齢、 回数制限 がなく、す べての治療)	不妊治療 について理 解を得るた めの啓蒙活 動(例:厚生 労働省の 不妊治療 連絡カード 等の活用、 上司、同僚 の研修)	不妊治療と 分らない ような名称 にする(女 性の休暇を 総称するこ とで)	その他	不明・無回 答
あなたの 雇用形 態は次 のいず れです か	合計	854	452	310	125	491	320	24	123	159	214	16	110	13	21
		100.0	52.9	36.3	14.6	57.5	37.5	2.8	14.4	18.6	25.1	1.9	12.9	1.5	2.5
	正社員・正規職員	643	340	225	95	384	244	18	94	133	152	12	83	6	9
		100.0	52.9	35.0	14.8	59.7	37.9	2.8	14.6	20.7	23.6	1.9	12.9	0.9	1.4
	非正規・非常勤(無期)	86	49	43	15	49	25	2	10	10	21	3	9	0	5
		100.0	57.0	50.0	17.4	57.0	29.1	2.3	11.6	11.6	24.4	3.5	10.5	0.0	5.8
	非正規・非常勤(有期)	104	53	34	9	50	45	3	19	12	34	1	16	6	4
		100.0	51.0	32.7	8.7	48.1	43.3	2.9	18.3	11.5	32.7	1.0	15.4	5.8	3.8
	派遣	5	4	2	0	3	1	0	0	1	0	0	1	0	0
		100.0	80.0	40.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
フリーランス・個人請負	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	14	5	5	5	5	5	1	0	3	6	0	1	1	3	
	100.0	35.7	35.7	35.7	35.7	35.7	7.1	0.0	21.4	42.9	0.0	7.1	7.1	21.4	
不明・無回答	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

